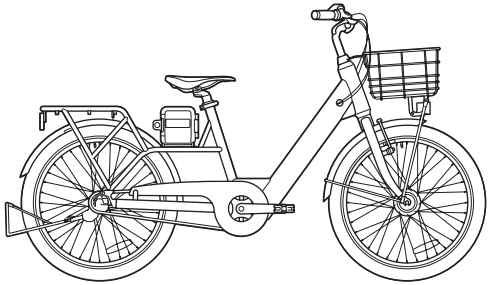
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

電動アシスト自転車

モデル BY001G



このたびは**電動アシスト自転車**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

仕様 - - -

お手入れ - - -

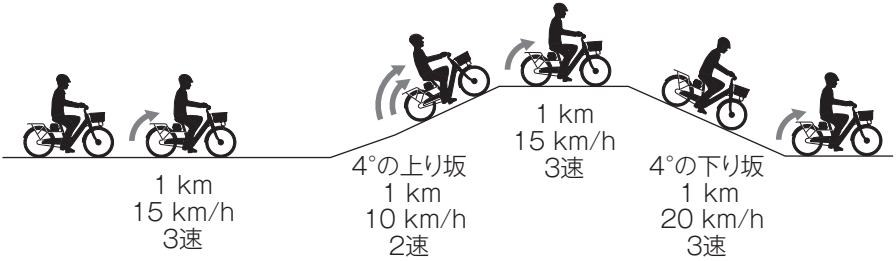
モデル	BY001G
使用可能バッテリ	BL4025（容量 2.5 Ah） BL4040（容量 4.0 Ah） BL4050F（容量 5.0 Ah） BL4080F（容量 8.0 Ah）
電圧	直流 36 V（40 V max）※ 1
アシスト切替	3 モード（強 / 中 / 弱）
走行距離	強モード：22 km 中モード：37 km 弱モード：75 km （詳細は P.5 を参照）
フレーム材質	アルミ
ホイール径	24 インチ
タイヤサイズ	24 × 1.95
ギヤ変速	3 段
折り畳み機能	なし
前照灯（ライト）	あり
スタンド	両立スタンド
前カゴ	あり
リヤキャリア	あり
チェーンケース	あり
フェンダー	あり
ベル	あり
防じん・防水性能	IPX4
乗車可能最低身長	135 cm
寸法	長さ 1,845 mm ×幅 595 mm × ハンドル高さ 1,000 mm ～ 1,050 mm （サドル高さ 770 mm ～ 950 mm）
質量	22.9 kg
最大積載量	100 kg ※ 2

※ 1：40 V max は満充電時のバッテリ電圧を表しています。
※ 2：最大積載量とは乗員＋荷物＋バッテリの質量の合計値です。

- 本製品の基本設計及び評価は、乗員体重 65 kg で行っております。著しくオーバーした体重の人が常用される場合、各部の摩耗度合い、劣化度合いが早くなります。
- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

1 充電当たりの走行距離

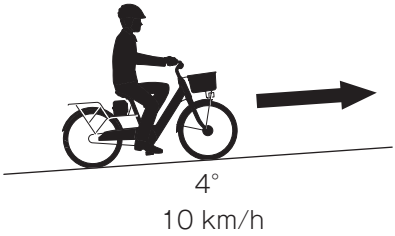
標準パターン



・ 温度は 20 ℃、無風の状態。組バッテリは新品。前照灯（ライト）は消灯の状態。
・ 路面は乾燥した平滑な路面。タイヤの空気圧は 350 kPa のとき。
・ 空気圧は体重 65 kg 程度の方が乗車された場合を想定。

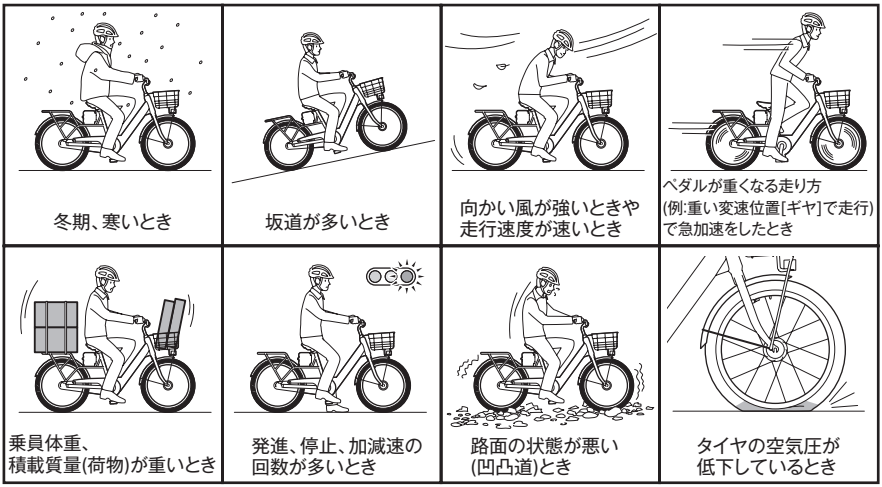
モード	BL4025	BL4040	BL4050F	BL4080F
強モード	16 km	22 km	29 km	39 km
中モード	27 km	37 km	49 km	66 km
弱モード	54 km	75 km	98 km	132 km

4° 登坂連続パターン



モード	BL4025	BL4040	BL4050F	BL4080F
強モード	4 km	6 km	8 km	13 km
中モード	7 km	11 km	14 km	22 km
弱モード	14 km	22 km	28 km	45 km

・ 走行距離は、気象条件、路面の状況、自転車の整備具合、自転車の乗り方などにより、短くなることがあります（条件によっては大幅に短くなることもあります）。



本書では、電動アシスト自転車 BY001G の取り扱い方法について記載しています。本書をよく読み、内容をご理解の上で正しく使用してください。本書の中でご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店、または当社の営業所までお問い合わせください。不明なままでのご使用はお控えください。

本製品は、電動アシスト自転車です。ペダルをこぐことで、その踏力を感知し駆動補助動力を発生させこぐ力を補助する機能があります。

使用上のご案内

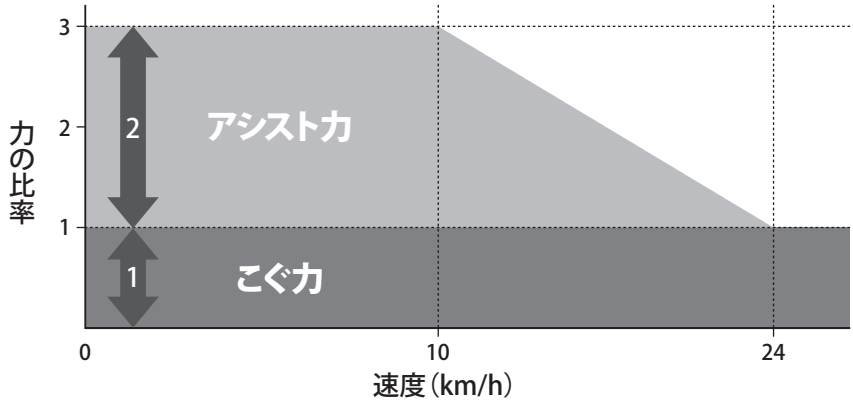
ご使用の前に必ず本書をお読みください。
本書を読まずに使用すると、本製品が壊れたり、利用者自身がけがをしたりする恐れがあります。
本書は、本製品の主要な機能を紹介しています。
本製品は使用に伴い、必ず傷んだり、ネジがゆるんだりします。
これらを放置して使用を続けると、重大な故障につながることがあります。
お買い上げの販売店、または当社の営業所で「初回点検・定期点検」を受け、乗る前に「日常点検（詳細は P.31 を参照）」を実施してください。

・ 使用開始後２ヶ月以内に、初回点検を受けてください。
・ １年ごと、および異常を感じた場合には、定期点検を受けてください。

本書をお読みになった後は大切に保管し、必要に応じてご活用ください。
本製品を他人に譲ったり、貸し出したりする場合は、本書を併せてお渡しください。

しくみと特徴

- 軽い踏力で運転することができます。
- ペダルを踏み込むと、その力をセンサが検出します。ペダルを踏む力に応じてアシストユニットの補助力（電動補助力）が働き、軽い力で運転することができます。上り坂、向かい風、荷物を載せているときに、楽に運転することができます。
- 快適な速度で走行できます。
- 走行速度が上がるにつれ、ペダルを踏む力に対する電動補助力の比率が減少していき、24 km/hで、電動補助力がゼロになります。
- 本製品は、3つのアシストモードを用意しています。
- 本製品は、ペダルの回転が止まるとモータの出力を即時停止します。
- 電動アシスト機能をオフにしておくと、アシスト無しの自転車と同じように使用できます。バッテリが切れてもアシスト無しの自転車として使用できます。



＊このグラフは道路交通法の内容を表しています。
本製品の性能を表すものではありません。

・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。

注意文の ⚠警告・⚠注意・注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

バッテリおよび充電器取り扱い上のご注意

⚠ 警告

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
- 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。

2. 充電式製品、バッテリおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
- 充電式製品や充電器内部に水が入り、感電やバッテリが短絡（ショート）する恐れがあります。
  バッテリ内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

3. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
- 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
- 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。
  電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。

4. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
5. USB 電源端子付き製品の場合、USB 電源部の端子間を短絡（ショート）させないでください。
- 釘、針金が USB 電源端子部に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

充電式製品の使用と手入れ

1. スイッチ付き製品の場合、スイッチに異常がないか点検してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない充電式製品は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

2. 充電式製品の誤始動を防ぐために、使用後はスイッチを切り、バッテリを本製品から抜いてください。
3. 使用しない充電式製品は、子供の手の届かない乾燥した鍵がかかる場所に保管してください。
- 充電式製品や充電器からバッテリを抜いて保管してください。
- 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
- バッテリはバッテリカバーをつけて保管してください。

4. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

⚠ 警告

バッテリに関する安全事項

1. バッテリは専用充電器以外では充電しないでください。
- ほかのバッテリ用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。

2. マキタが指定した専用バッテリ以外使わないでください。また、改造したバッテリ（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリを含む）を使用しないでください。
- 本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

3. バッテリの端子部を金属などに接触させないでください。
- バッテリを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
- 本製品または充電器からはずした後は、バッテリにバッテリカバーを必ず取り付けてください（バッテリ付きの場合）。

4. 高温などの過酷な条件下ではバッテリから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
- 万が一、バッテリの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
- バッテリの液は炎症ややけどの原因になることがあります。

5. バッテリはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
- 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。

6. バッテリは、火への投入、加熱をしないでください。
- 発火、破裂の恐れがあります。

7. バッテリに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

8. 分解・改造をしないでください。
- 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

9. 使用時間が極端に短くなったバッテリは使用しないでください。

10. バッテリを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
- バッテリを周囲温度が 50 ℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリ劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

11. バッテリを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
- バッテリ内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。

12. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリは使用しないでください。
- 損傷、または使用できなくなったバッテリは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

⚠ 警告

13.使用済みのバッテリは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
- 棄てられたバッテリがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

14.バッテリは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。
- 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- 電力量は、バッテリ裏側の注意ラベルに記載されています。

15.使用中、使用後にバッテリが熱くなることがあります。火傷、低温火傷の原因になるため注意してください。
- 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているため火傷の恐れがあります。

16.バッテリを使用する前に、充電器、バッテリ、バッテリを使用する製品に関するすべての取扱説明と注意表示をお読みください。

17.バッテリは子供の手が届かない場所に保管してください。

整備

1. 充電式製品は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。
- 本製品、充電器、バッテリを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本製品が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

⚠ 警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

・ 使用前に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は､使用する前に修理を行ってください。
・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
・ 異常･故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙･発火、感電、けがに至る恐れがあります。
  ＜異常・故障例＞
  ・ 充電器の電源コードや電源プラグが異常に熱い。
  ・ 充電器の電源コードに深いキズや変形がある。
  ・ 充電器の電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
  ・ 焦げくさい臭いがする。
  ・ ビリビリと電気を感じる。
  ・ スイッチを入れても機能しないなど不具合を感じた場合は、直ちにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

・ 爆発や火災の恐れがあります。

3. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。

・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニルなどの上では充電しないでください。
・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを差し込まないでください。
・ 綿ぼこりなど、ホコリの多い場所で充電しないでください。

4. 充電器のバッテリ装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。

・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

5. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
6. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

7. 正しく充電してください。
- 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ラベルに 発電機 の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- 周囲温度が 10 ℃未満、または周囲温度が 40 ℃以上ではバッテリを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- バッテリは、換気のよい場所で充電してください。充電中のバッテリや充電器を布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないような場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

8. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。
- 感電の恐れがあります。

9. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安
- 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm^2	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ほかの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

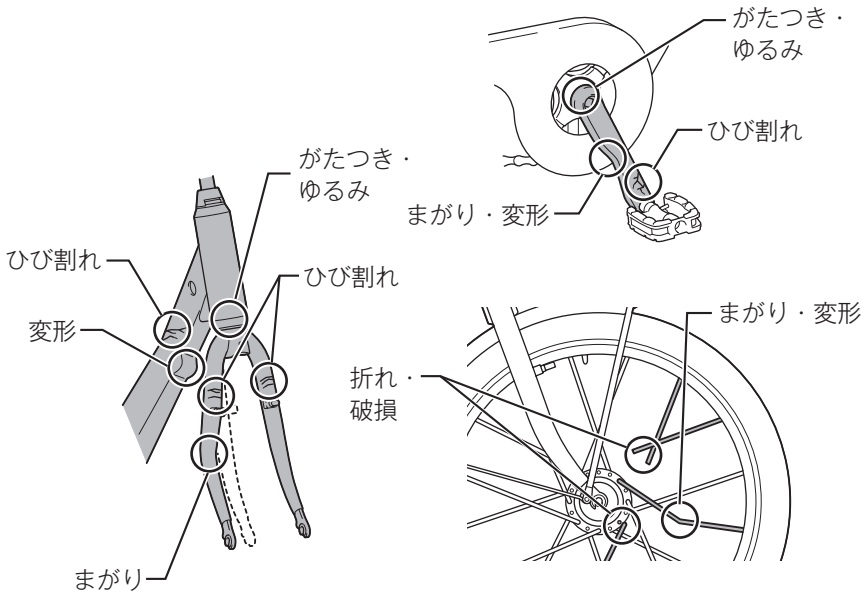
自転車の取り扱い上のご注意

ご使用になる人の安全や、他人への危害・財産の損害、自転車の故障を未然に防止するために、必ずお守りください。

⚠ 警告

乗車前に必ず点検をしてください

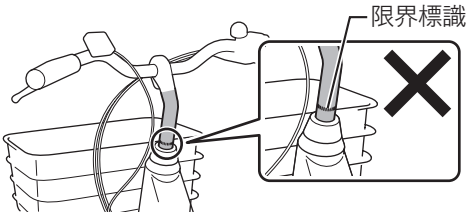
1. フレーム・前フォークやクランク、ペダル、スポークなどの部品に変形やひび割れ、がたつきはないか。

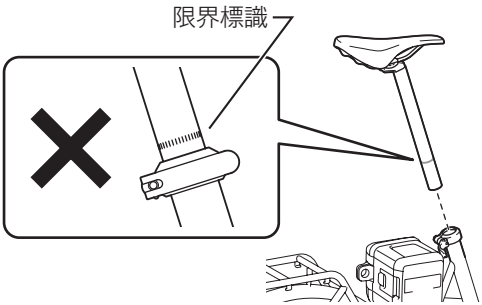


・ 走行中に壊れて事故やけがをする恐れがあり大変危険です。上記の問題を発見したときは、直ちに使用を中止しお買い上げの販売店、または当社の営業所にお申し付けください。

⚠ 警告

2. ハンドルやサドル（シートポスト）は限界標識が隠れるまで差し込まれているか。





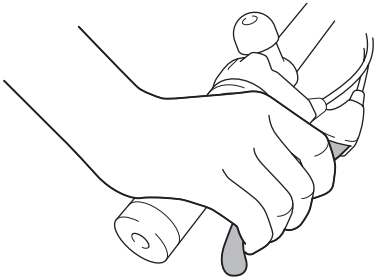
・ ハンドルやサドル（シートポスト）の折れ・破損や抜けにより事故・けがの恐れがあります。

3. ハンドル・サドル・グリップの固定は十分か。

・ 操縦できなくなり、事故・けがの恐れがあります。

⚠ 警告

4. ブレーキはよくきくか。



5. タイヤの空気圧は十分か。
・ タイヤのひび割れ、偏摩耗やパンクの原因になります。
6. 前輪・後輪の固定は十分か。

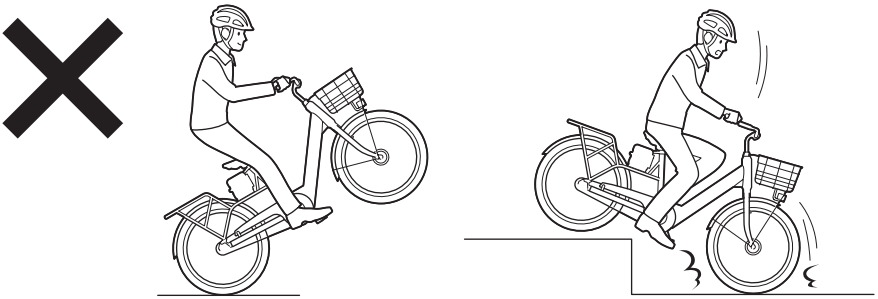
・ 走行中にはずれて事故・けがの恐れがあります。
7. ネジがゆるんでいるところはないか。
・ ゆるんでいるところが壊れて事故・けがの恐れがあります。

⚠ 警告

安全に走行いただくために次の事項をお守りください。

1. 乱暴な乗り方をしない。

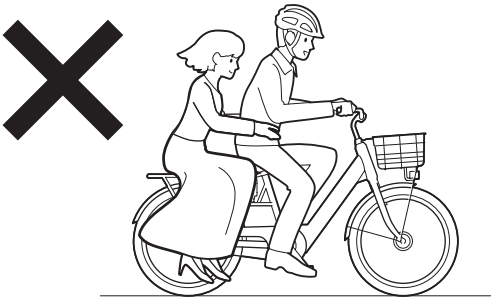
・ 階段や縁石の乗り降り、アクロバット走行、凹凸の激しい場所での走行など。



・ 自転車が壊れて事故・けがの恐れがあります。

2. ２人乗りをしない。

・ ハブステップ取り付けの禁止。



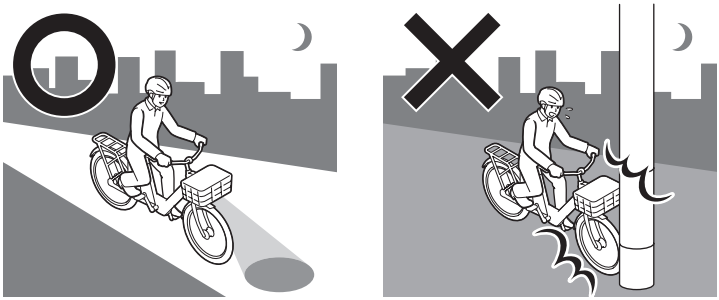
・ 操縦が不安定になり転倒し、自転車が壊れて事故・けがの恐れがあります。

3. 傘さし運転、片手運転、手ばなし運転をしない。

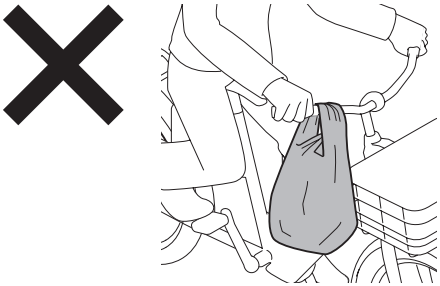
・ 急を要する操作に対応ができず、事故・けがの恐れがあります。必ず、両手でハンドルを握ってください。

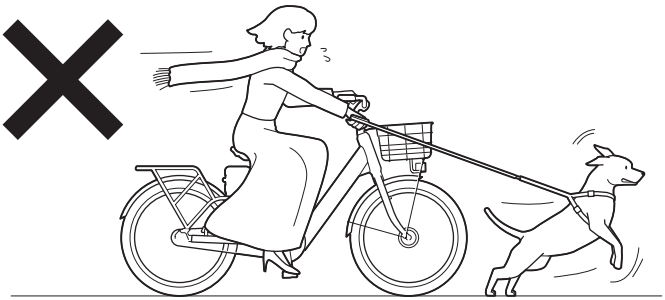
⚠ 警告

4. ２台以上の自転車で通行するとき、横に並んで走行しない。
・ 他の交通の妨げになり、接触して事故を起こす恐れがあります。一列に並んで走行してください。
5. 夜間道路を走るとき、およびトンネル内など暗いところを通行するとき、無灯火で走行しない。



・ 事故・けがの恐れがあります。
6. ハンドルに荷物をかけたり、ペットをつないだ状態で走行しない。

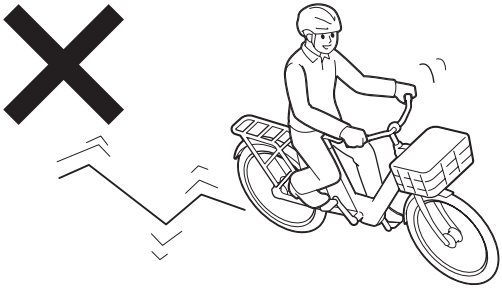




・ 事故・けがの恐れがあります。

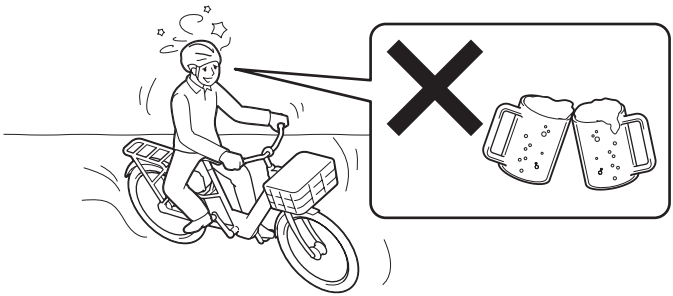
⚠ 警告

7. ジグザグ運転をしたり、競争しない。



・ 事故を起こす恐れがあります。

8. 酒を飲んだときや体調が優れないときに乗らない。



・ 事故・けがの恐れがあります。

9. 走りながら携帯電話を操作しない。

・ 片手運転と前方不注意により事故を起こす恐れがあります。

⚠ 警告

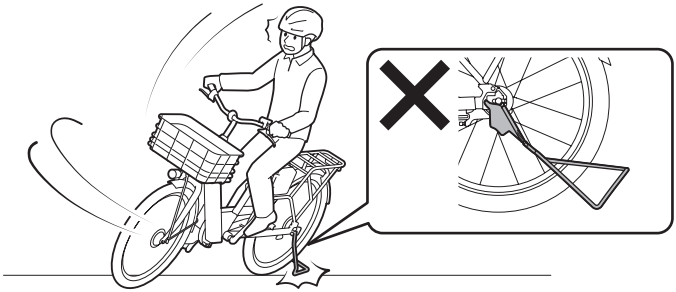
10.ヘッドフォンやイヤホンを使用しながら乗らない。

・ 周囲の音が聞こえにくくなり、事故を起こす恐れがあります。

11.けんけん乗りをしない。

・ ペダルを強く踏み込むことでアシスト機能が働きます。予期しない急発進により事故・けがの恐れがあります。

12.スタンドを上まではね上げずに走行しない。
カーブを曲がるときにスタンドが地面に引っかかり、転倒する恐れがあります。



⚠ 警告

長く、安全にご使用いただくために次の事項をお守りください。

毎回やること

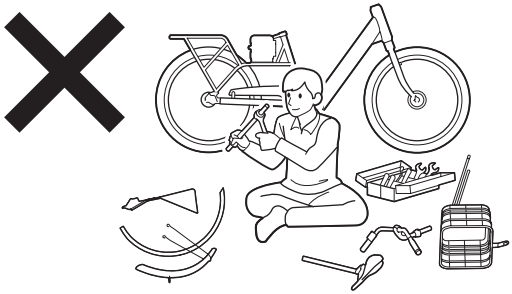
・ 乗車前に、P.31の記載内容に従って、本製品全体を点検・調整する。

定期的にやること

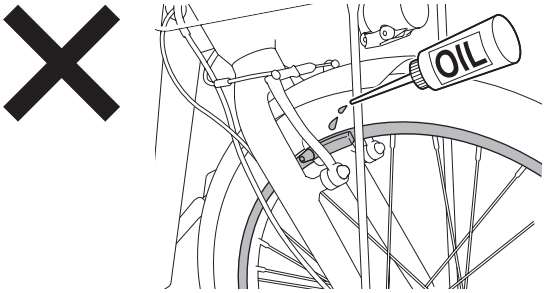
・ サビを防止し、長持ちをさせるために定期的に手入れをする。
・ 初回点検、定期点検をお買い上げの販売店、または当社の営業所で実施する。

メンテナンス時の注意事項として、

・ 改造・分解・突出物（ハブステップなど）の装着および指定箇所以外の調整はしない。



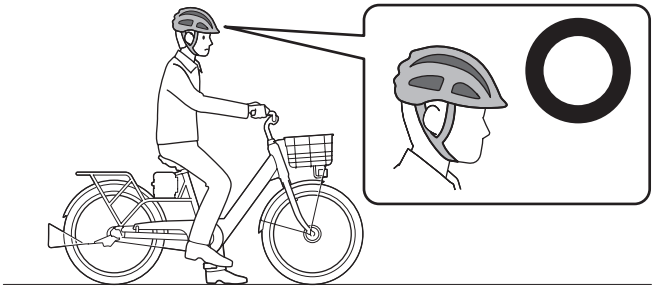
・ 前輪のブレーキ制動面に油をつけない。



⚠ 警告

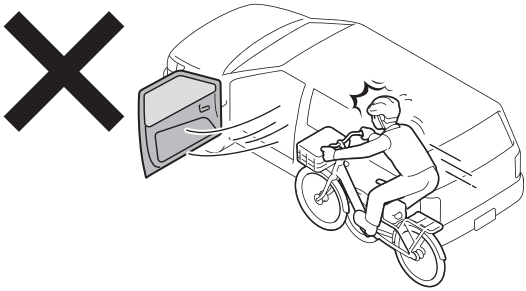
走行する前に次の事項にご注意ください。

1. 夜間、自転車に乗るときは、運転者から見やすいようにできるだけ明るい目立つ衣服を着る。
   視認性が低い色（黒や濃い青色など）を着て走行すると、車両や歩行者が気付かない場合があります。
   夜間は早めの点灯をしたり、反射タスキを装着したりすることで視認性が向上します。
2. タイヤに指定の空気圧を入れてから乗る（P.42 参照）。
   空気圧が低いと、タイヤのひび割れ、偏摩耗やパンクの原因になります。
3. ヘルメットを着用する。
   自転車に乗車する際は、必ずヘルメットを着用してください。



走行中は次の事項にご注意ください。

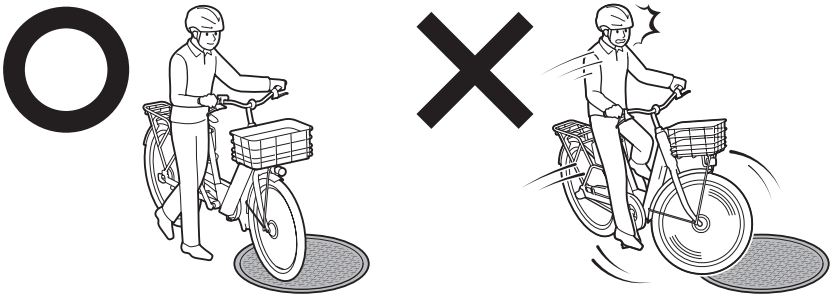
1. 道路の横断時は、自転車横断帯か横断歩道をわたる。これらがないところでは左右の安全を確認してからわたる。
2. 横断歩道に歩行者がいるときに横断歩道をわたる場合は、自転車を降りて押してわたる。
3. 停車している自動車の脇を通るときは、十分に注意する。
   急にドアが開いたり、車両のかげから歩行者が飛び出してくることがあります。



⚠ 警告

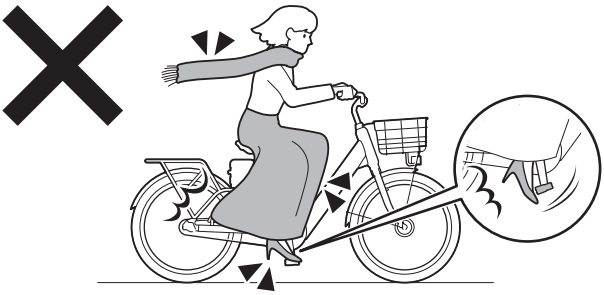
4. 交差点近くでは、左折する自動車に巻き込まれないように注意する。
5. 一時停止標識がある道路や、狭い道から広い道に出るときは、一旦停止し、安全を確認してから通行する。

6. 路面の凍結、工事中の鉄板などですべりやすい場所や、風雨雪などにより視界が悪いときは、自転車を押して歩く。



7. 曲がり角や障害物で見通しの悪いところでは、スピードを落とし、注意して通行する。
8. すそが巻き込まれる恐れのある服装やすべりやすい靴、かかとの高い靴などを履いて走行しない。

・ 衣類のすそなどがチェーンに巻き込まれたり、部品に引っかかったりして、転倒する恐れがあります。ズボンのすそはバンドやクリップで留めてください。

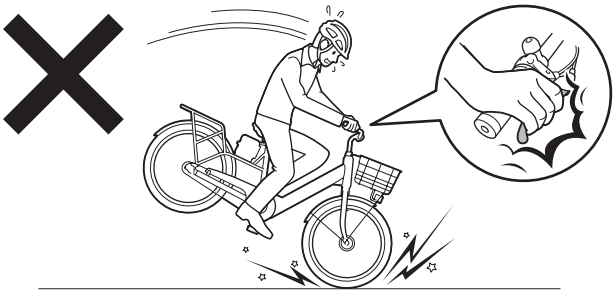


⚠ 警告

ブレーキについては次の事項にご注意ください。

1. いつでもブレーキに手が伸ばせ、ブレーキレバーを握れるようにハンドルを持つ。
2. 乗車前には必ず前後のブレーキがきくことを確認する。
3. 停止、減速する際は、先に後輪のブレーキをかけてから、前輪のブレーキもかけ、前後のブレーキがかかるようにする（P.29 参照）。

・ 片方のブレーキだけをかけると、タイヤがスリップしたり、後輪が浮き上がったりして危険です。



4. いつも前方に注意して、スピードを控えめにする。

・ 急ブレーキをかけなければいけない状況はあらかじめ避けるようにしてください。

5. 雨天時はゆっくり走行する。

・ 濡れた路面ではブレーキが晴天時よりききにくくなります。

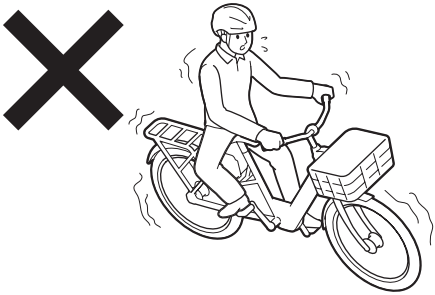
6. 長い下り坂では前後のブレーキを使って安全な速度で走行する。

・ 片方のブレーキだけをかけて坂を下るなどの過酷なブレーキの使い方をすると、ブレーキをかけていた側が先に摩耗してききにくくなる場合があります。

その他、次の事項にご注意ください。

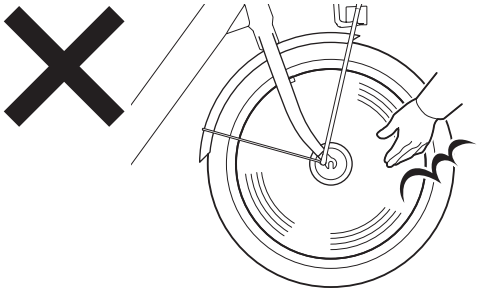
1. 乗りなれない自転車に乗るときや初心者の方は十分に練習する。

・ 空き地や公園などの安全な場所で練習してから公道で走行してください。

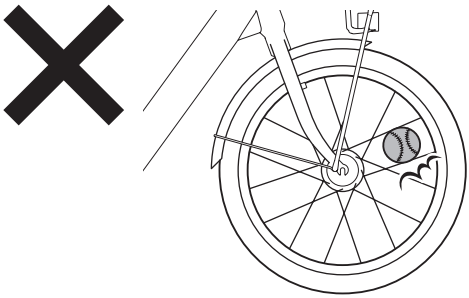


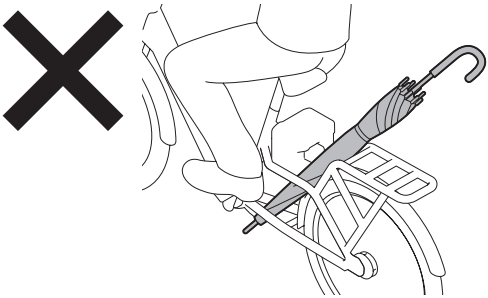
⚠ 警告

2. 回転部分には手や足を入れない。
・ はさまってけがをする恐れがあります。



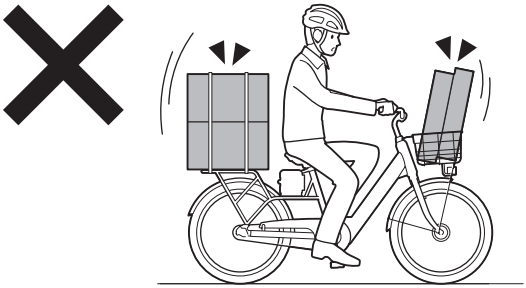
3. スポークやフレームの間に物（ボールや傘など）をはさまない。
・ 走行中に物がホイール、フレームや前フォークなどのすき間にはさまるとホイールが急ロックし、転倒したり自転車から投げ出される恐れがあります。



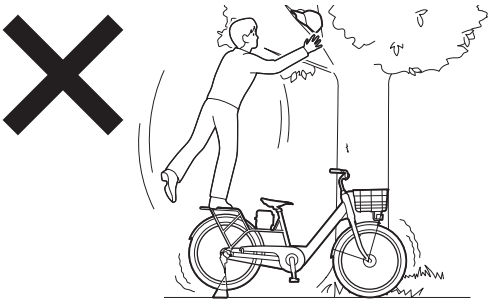


⚠ 警告

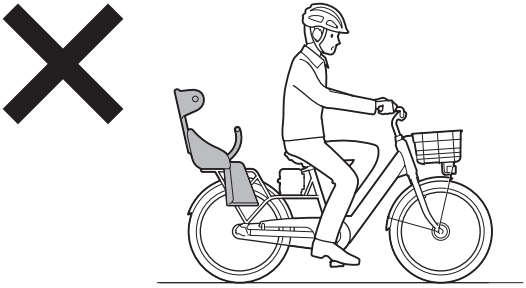
4. **走行中、靴先を前輪やドロヨケにぶつけない。**
・ 足またはドロヨケが前輪に巻き込まれる恐れがあります。
5. **荷物を積むときは必ず積載装置（リヤキャリア・前カゴなど）に荷物を積む。**
積載量は P.30 を参照してください。
・ 荷物は片寄らないようにひもでしっかり固定し、荷物でリフレクタが隠れないようにしてください。



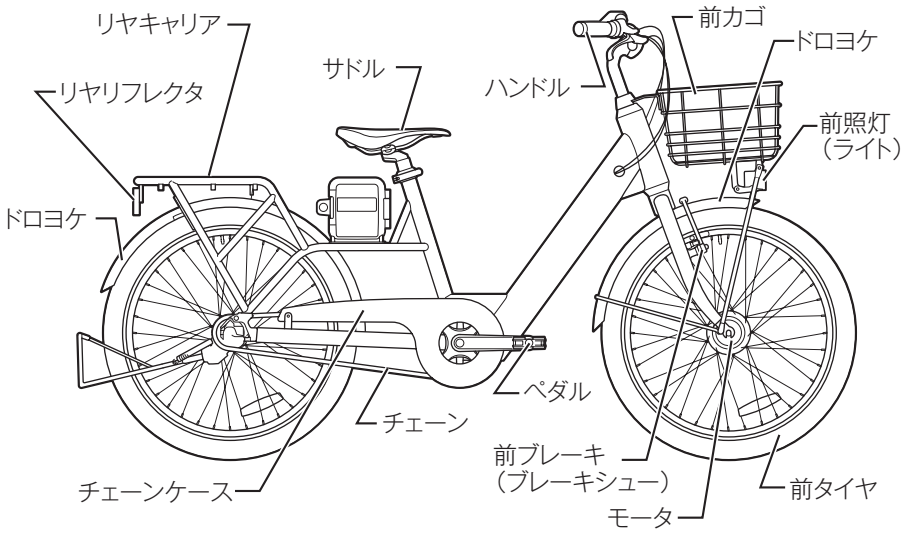
6. **走行目的以外に使用しない。**
・ 踏み台など走行目的以外に使用しないでください。転倒してけがをする恐れがあります。

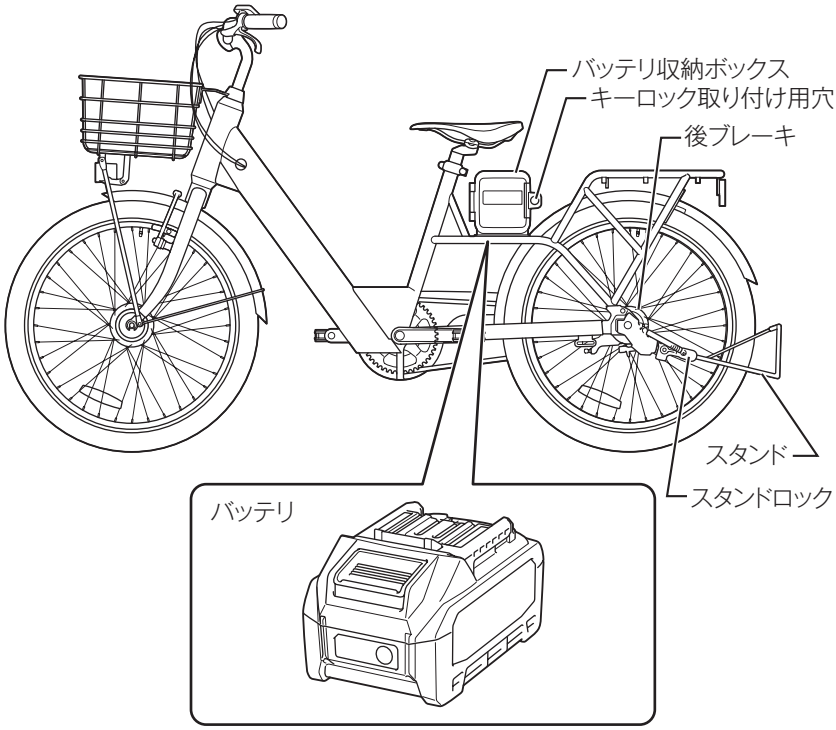


7. **幼児用座席を取り付けない。**
・ 走行の安定性が損なわれ、転倒してけがをする恐れがあります。

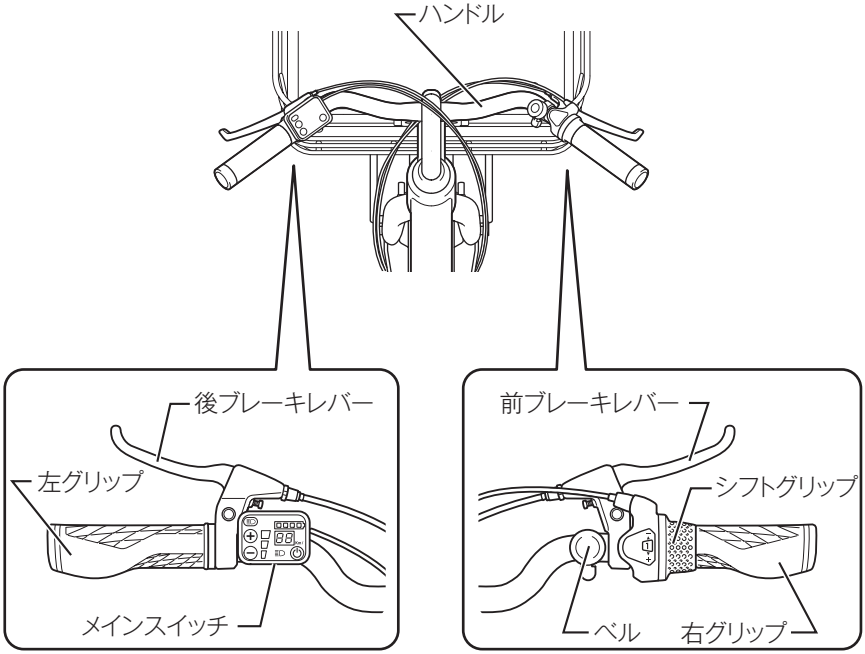


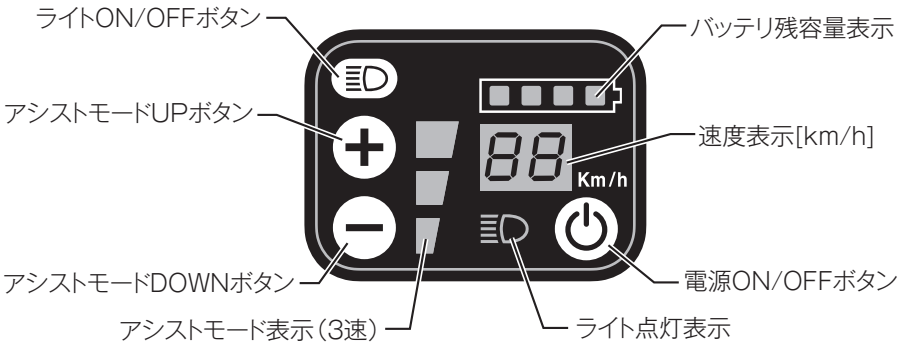
自転車全体


リヤキャリア
リヤリフレクタ
ドロヨケ
サドル
ハンドル
前カゴ
ドロヨケ
前照灯
（ライト）
ペダル
チェーン
チェーンケース
前ブレーキ
（ブレーキシュー）
モータ
前タイヤ


バッテリ収納ボックス
キーロック取り付け用穴
後ブレーキ
スタンド
スタンドロック
バッテリ

ハンドルまわり


ハンドル
後ブレーキレバー
左グリップ
メインスイッチ
前ブレーキレバー
シフトグリップ
ベル
右グリップ


ライトON/OFFボタン
アシストモードUPボタン
アシストモードDOWNボタン
アシストモード表示（3速）
バッテリ残容量表示
速度表示[km/h]
Km/h
電源ON/OFFボタン
ライト点灯表示

標準常用速度

⚠ 警告

スピードはいつも控えめにしてください。高速走行での事故・転倒は大けがの恐れがあります。

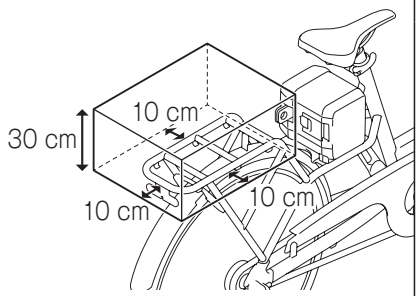
15 ～ 24 km/h
※標準常用速度は、本製品を設計するうえで想定した標準的な速度です。

前カゴとリヤキャリアについて

⚠ 警告

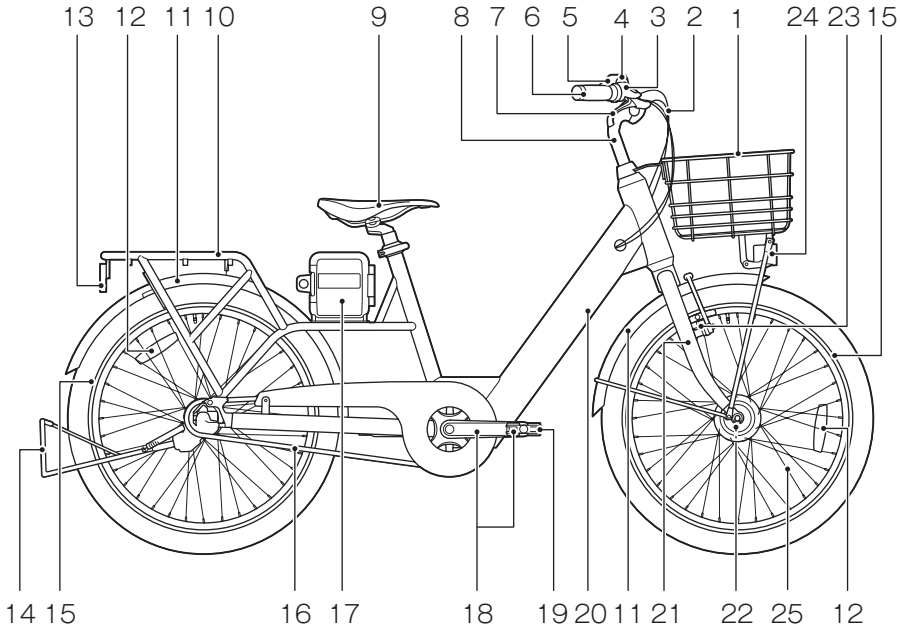
- 制限積載量を超えて荷物を積載すると、自転車の安定性が損なわれ、転倒・事故を起こす恐れがあります。制限積載量を超えないようにしてください。
- 荷物が動かないように固定してください。
- 本製品には幼児用座席を取り付けることはできません。

下表に示す内容を超える荷物を積まないでください。

大きさ	リヤキャリア	
	高さ：30 cm まで 幅：キャリアの幅プラス左右それぞれ 10 cm まで 長さ：キャリア後端からプラス 10 cm まで	
	前カゴ	
	カゴにおさまる大きさまで	
重さ	前カゴ：6 kg まで リヤキャリア：27 kg まで	

安全にご乗車いただくため、乗車前に点検と調整を実施してください。

- 点検と調整は電源を切った状態で行ってください。
- 未組立、未調整および調整不良の自転車は使用しないでください。
- 組立についてはお買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
- 調整についてわからないときは、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

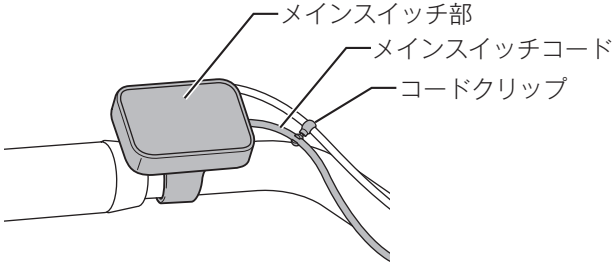


No.	点検箇所	点検内容
1.	前カゴ	□ がたつきはないか。
2.	ワイヤ類（ブレーキ・変速機など）	□ たるみ・サビ・断線や損傷がないか。
3.	シフトグリップ	□ スムーズに変速できるか。
4.	ベル	□ 正常に鳴るか。 □ 固定は確実か。
5.	メインスイッチ	詳細は P.33 を参照
6.	グリップ	□ ひび割れはないか。 □ 抜けはないか。 □ 回らないか。
7.	ブレーキレバー	詳細は P.33 を参照

No.	点検箇所	点検内容
8.	ハンドル	詳細は P.38 を参照
9.	サドル	詳細は P.39 を参照
10.	リヤキャリア	□ 固定は確実か。
11.	ドロヨケ（前・後）	□ がたつきやはずれはないか。 □ タイヤに当たっていないか。 □ まがりはないか。
12.	スポークリフレクタ（前・後）	□ 割れやがたつき、汚れはないか。
13.	リヤリフレクタ	詳細は P.40 を参照
14.	スタンド	□ 作動および解除がスムーズにおこなえるか。 □ 異常ながたつきはないか。 □ スタンドロックが正しく作動するか。
15.	タイヤ・ホイール	詳細は P.41 を参照
16.	チェーン	詳細は P.43 を参照
17.	バッテリ	残容量表示ボタンを押したとき □ 残容量表示ランプが点灯するか。 外観を見て □ バッテリの表面にひび割れや変形などはないか。 □ 端子部が汚れていないか。 車体に装着してみて □ しっかりと本製品にはまっているか。
18.	ペダル・クランク	□ がたつきはないか。 □ ひび割れやまがり、変形はないか。
19.	ペダルリフレクタ	□ 割れやがたつき、汚れはないか。
20.	フレーム	□ ひび割れやまがり、変形はないか。 □ ワイヤ類が巻きついていないか。
21.	前フォーク	□ ひび割れやまがり、変形はないか。
22.	モータ	詳細は P.44 を参照
23.	ブレーキ（前・後）	詳細は P.35 ～ 37 を参照
24.	前照灯（ライト）	詳細は P.44 を参照
25.	スポーク	詳細は P.41 を参照

メインスイッチの点検

□ ケースや操作スイッチ部にひび割れなどがないか。
□ スタンドを上げて、ハンドルを回転させたとき、メインスイッチコードが突っ張っていないか。
□ コードに断線や損傷はないか。
□ コードクリップははずれていないか。
□ ライト ON/OFF ボタンを押したとき、前照灯（ライト）が点灯・消灯するか。

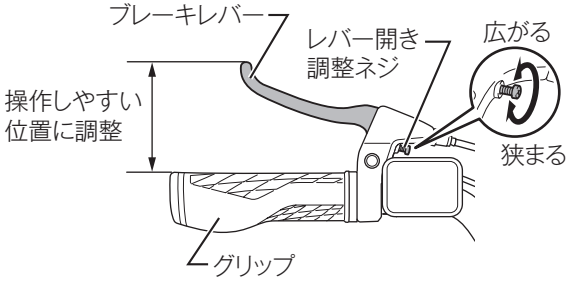


ブレーキレバーの点検

⚠ 警告

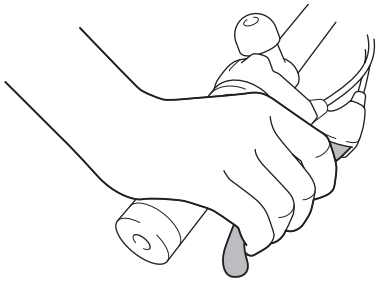
- ブレーキワイヤは消耗品です。異常がなくても２年に１度はお買い上げの販売店、または当社の営業所で交換してください。
- ブレーキレバーの遊びが大きい場合は、ブレーキがきかなくなることがあり危険です。直ちにお買い上げの販売店、または当社の営業所に調整をお申し付けください。

□ ブレーキのききは良いか。
□ ブレーキワイヤにサビやほつれはないか。
□ 左右ブレーキレバーの取り付け部を押して動いたりがたついたりしないか。
□ 開き・引きしろは適正か。
□ 操作したときに動作は円滑か。
□ ブレーキがかかったままになっていないか。



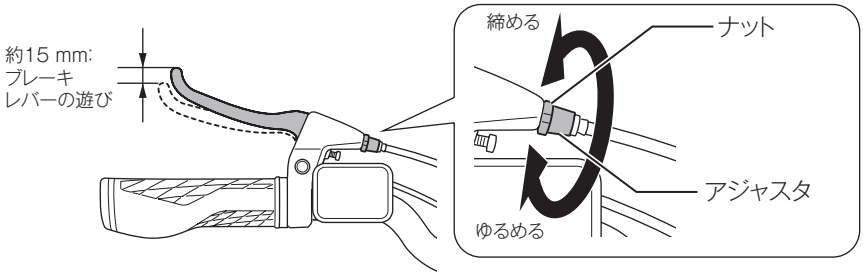
●ブレーキレバーの開き調整

1. ブレーキレバーを開放した状態で、レバー開き調整ネジを回します。
2. 操作しやすい位置（ブレーキレバーを引く指の第一関節から第二関節がかかる位置を推奨）になるよう調整します。



●ブレーキレバーの引きしろ調整

・ ブレーキレバーを強く握って、レバーとグリップが付く場合は、遊びが少なくなるように再調整してください。



・ ブレーキレバーの遊びが約15 mmになるよう、前後ブレーキの引きしろを調整します。
  1. ナットをゆるめます。
  2. アジャスタを回してブレーキの引きしろを調整します。
     ゆるめるほどワイヤの張りが強くなり遊びが少なくなります。
  3. 調整完了後、ナットをしっかり締めて固定します。
・ 調整がうまくできない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所に調整をお申し付けください。

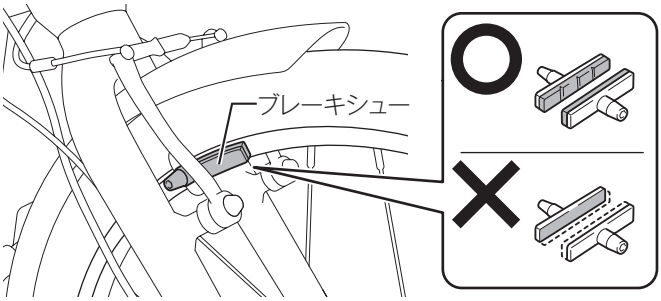
注

- 調整範囲は目安です。調整後は必ずブレーキが過不足なくきいているか確認してください。
- 電源オフの状態で、ブレーキレバーを引かずに前後ホイールの回転が重たくなっていないか（ブレーキがかかっていないか）確認してください。
- 前ブレーキの遊びの調整がうまくできない場合は、ブレーキシューの交換を推奨します。
- アジャスタを引き出しすぎるとネジ山がつぶれて調整ができなくなる恐れがあります。

ブレーキの点検

⚠ 警告

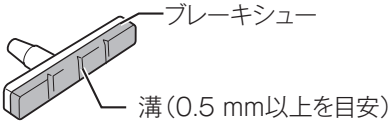
- ブレーキシューは消耗品です。すり減ってきたら必ずお買い上げの販売店、または当社の営業所に交換をお申し付けください。



調整はお買い上げの販売店、または当社の営業所にお申し付けください。

□ 前輪のブレーキシューがすり減っていないか。
□ 横から見てブレーキシューがリムと平行になっているか。
□ 異物がブレーキシューについていないか。
□ 確実に固定されているか。
□ ブレーキシューがタイヤに当たっていないか。
□ ブレーキがきかない、またはきき過ぎていないか。
□ ブレーキシューの溝の残りが0.5 mm以上あり、溝に小石などが挟まっていないか。

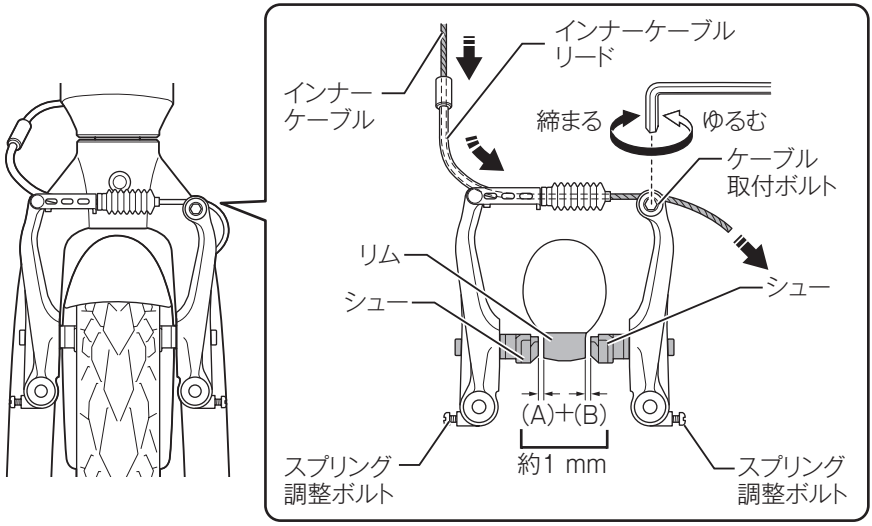
（参考イラスト）



⚠注意

- 本製品の前ブレーキはＶ型ブレーキを採用しています。前ブレーキを引いたとき、ブレーキレバーの引きしろが 1/3 を超えて引けるようなら、遊びの調整をしてください。解消しない場合は、ブレーキシューの交換を推奨します。
- ブレーキシューがない状態で、走行することは制動力が弱まり危険です。お買い上げの販売店、または当社の営業所で交換してください。

●前ブレーキの調整

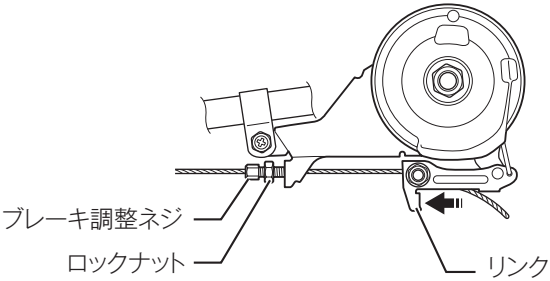


1. ケーブル取付ボルトをゆるめます。
2. インナーケーブルをインナーケーブルリードに通して、左右のシューとリムとの合計のすき間が約 1 mm になるように調整し、ケーブル取付ボルトを締めます。
3. スプリング調整ボルトでバランスを調整します。
4. ブレーキレバーをグリップに接触するまで約 10 回握り、各部が正常に作業し、シューのすき間が適正であることを確認してから使用してください。

注

- ブレーキ調整が不適切な場合、ブレーキがきき過ぎたり、逆にきかなかったりすることがあります。
- 使用によるなじみや摩耗で、ブレーキのきき具合が変わります。ブレーキがききにくい場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所で点検を受けてください。

●後ブレーキの調整



1. ブレーキ調整ネジのロックナットをゆるめます。
2. リンクを押しながら、ブレーキ調整ネジを回します。
3. 走行してブレーキがきくかを確認します。
4. ブレーキ調整ネジがゆるまないよう、ロックナットを締め付けます。

注

- 確実な制動力を得るために、通常 1 ～ 2 年に 1 回程度は専用グリスの補給が必要です。
- ブレーキ調整が不適切な場合、ブレーキがきき過ぎたり、逆にきかなかったりすることがあります。
- 使用によるなじみや摩耗で、ブレーキのきき具合が変わります。ブレーキがききにくい場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所で点検を受けてください。

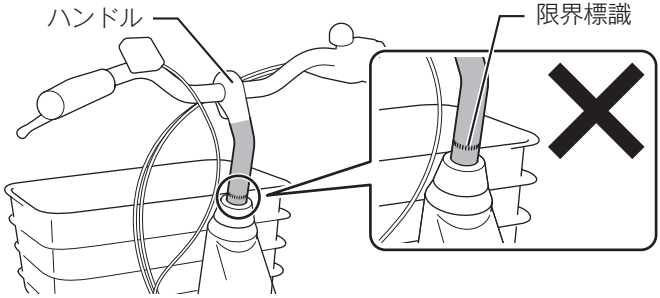
ハンドルの点検

⚠ 警告

- **固定が不十分なまま使用すると、走行中に抜けたり、ゆるんだりして事故・けがの恐れがあります。**

調整はお買い上げの販売店、または当社の営業所にお申し付けください。

□ ハンドルの固定は確実か。
□ 限界標識が、見えていないか。
□ ハンドルが前輪に対して直角か。
□ ハンドルが左右方向に 60 度以上回転するか。

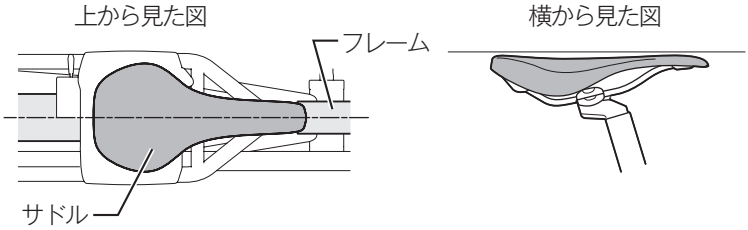


サドルの点検

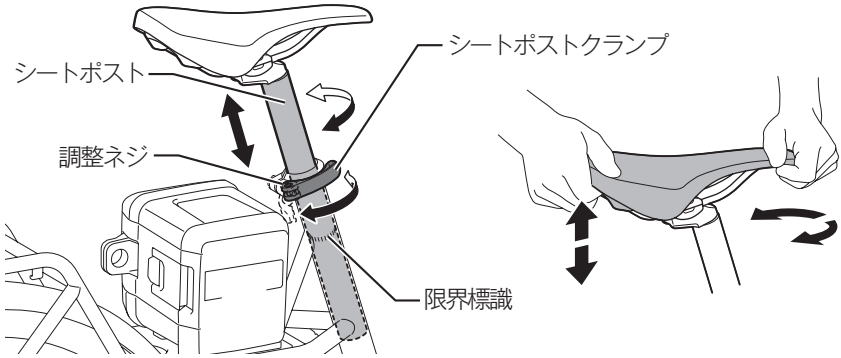
⚠ 警告

- 固定が不十分なまま使用すると、走行中に抜けたり、ゆるんだりして事故・けがの恐れがあります。

□ 両足のつま先が地面につくか。
□ サドルの固定は確実か。
□ サドルがフレームと平行になっているか。
□ サドルの上面と地面が平行になっているか。
□ 限界標識が隠れるまで差し込まれているか。



●サドルの高さと向きの調整



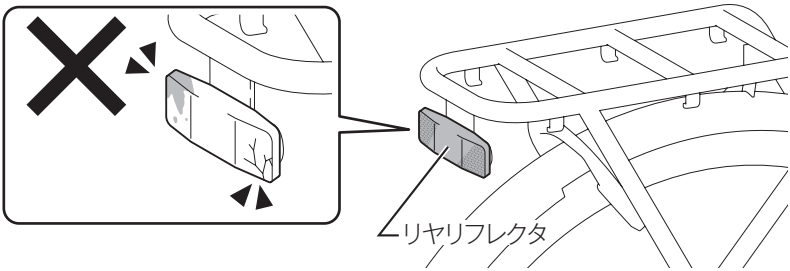
1. シートポストクランプをはずします。
2. サドルの高さと向きを調整します。
3. シートポストクランプを締めます。
4. がたつきやずれがないことを確認します。

注

- シートポストが十分に固定しなかったり、途中でレバーが固くて閉じられないときは、調整ネジの締め付け具合を調整してください。調整後は、レバーが足に当たらない位置に閉じてください。ペダルをこいだときにレバー先端が足に当たってけがをする恐れがあります。

リヤリフレクタの点検

□ 割れや、汚れはないか。
□ 荷物などで隠れていないか。

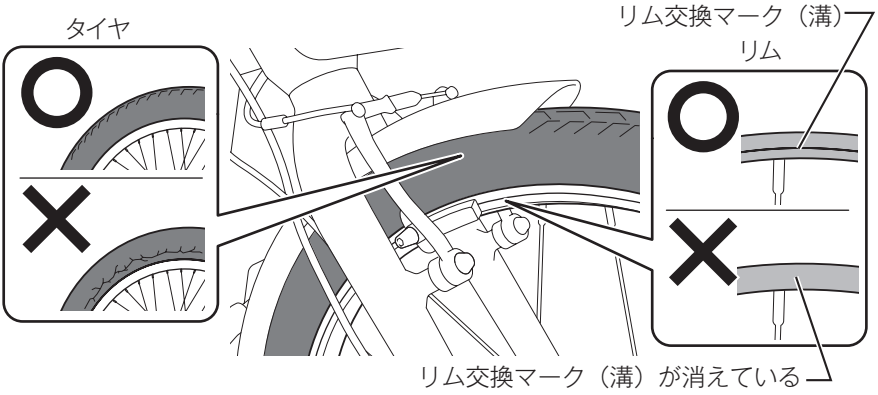


タイヤ・ホイールの点検

⚠ 警告

- タイヤの空気圧が低い状態では使用しないでください。タイヤのひび割れ、偏摩耗やパンクの原因になります。
- タイヤにガソリン・有機溶剤・油類が付着したときは、直ちにふき取ってください。
- タイヤはストーブなどの熱源の近くに置かないでください。
- 長期間使用しない場合でも、空気圧は自然に低下します。
- ブレーキをかけることによりリム表面は摩耗します。
- リム表面が摩耗すると、リム交換マーク（溝）が見えなくなります。新しいリムと交換してください。

□ タイヤに摩耗・切り傷はないか。
□ ホイールの固定は確実か。
□ タイヤに異物はついていないか。
□ スポークにまがり・折れ・ゆるみはないか。
□ 空気圧は適正か。
□ リムに振れ、変形はないか。
□ リムが異常に摩耗していないか。



●タイヤへの空気の補充

本製品のバルブの種類は英式バルブです。バルブの種類にあったポンプで空気を補充してください。ポンプの口金は製造メーカーによって異なるため一例を示します。詳しくはお買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

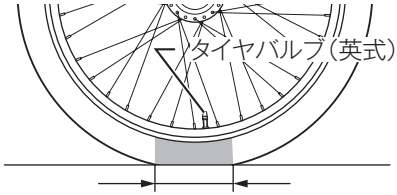
種類	バルブの形状	ポンプ（口金）の種類	空気の入れ方
英式	キャップ プランジャ		プランジャに口金を取り付けて空気を入れ、空気圧を確認してください。

●タイヤの適正な空気圧

⚠注意

- 空気圧が少ないと、タイヤの接地面積が広くなって走行抵抗が増し、ペダリングが重くなります。また、タイヤの摩耗やパンク、タイヤ側面の亀裂、リムの変形の原因になります。必ずタイヤ側面に記載された空気圧の範囲内（本製品付属のタイヤの場合､350 ～ 560 kPa（3.5 ～ 5.6 bar, 50 ～ 80 psi））で使用してください。

自転車に乗った状態での適正な接地部の長さは、下図の通りです。圧力計のないポンプで空気を入れる場合の参考にしてください。



タイヤの空気圧換算については、下記表を参考にしてください。

1 kPa=0.01 kgf/cm^2=0.145 psi

kPa	kgf/cm^2	psi
300	3.0	43.5
450	4.5	65
690	6.9	100

チェーンの点検

⚠ 警告

- チェーンのたるみが大きくなると、走行時にはずれやすくなり危険です。直ちにお買い上げの販売店、または当社の営業所に調整をお申し付けください。

□ 空回りしないか。
□ 小石などがはさまっていないか。
□ 歯飛びや異常な音（バリバリ音など）はないか。
□ 油切れはしていないか。
□ たるみが大きくないか。
□ サビていないか。
□ チェーンケースに接触していないか。

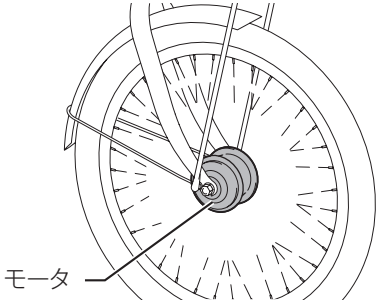
●チェーンのたるみについて

走行中、チェーンのまわりから異常な音がする場合は、チェーンが伸びているか、テンションプーリーが固着していることが考えられます。
お買い上げの販売店、または当社の営業所に点検・調整・交換をお申し付けください。

モータの点検

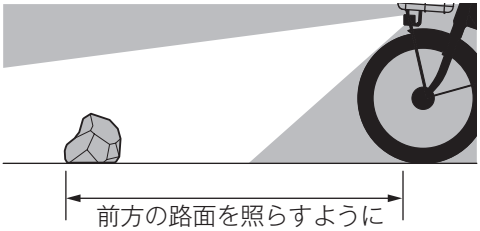
本製品のモータは前ホイールのハブ部分に組み込まれています。
修理はお買い上げの販売店、または当社の営業所にお申し付けください。

□ アシストを ON にして走行したとき、異常な音はしていないか。
□ アシストを ON にして走行したとき、異臭はしていないか。
□ アシストを ON にして走行したとき、モータ部が高温になっていないか。
□ ペダルに力を加えたとき、モータががたついていないか。



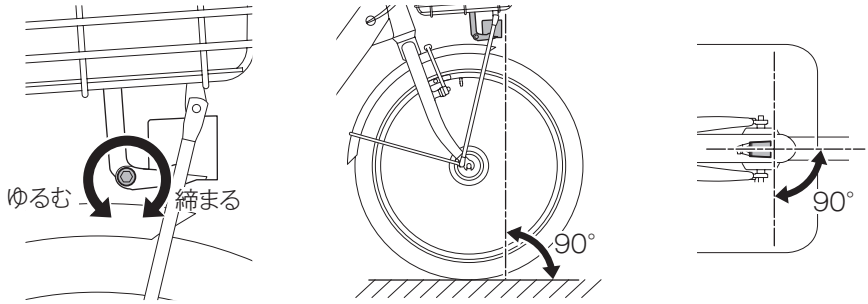
前照灯（ライト）の点検

□ 点灯するか。
□ 取り付け角度は適切か。
□ 割れやがたつき、汚れはないか。
□ コードにたるみ・断線・損傷はないか。



●前照灯（ライト）の角度調整

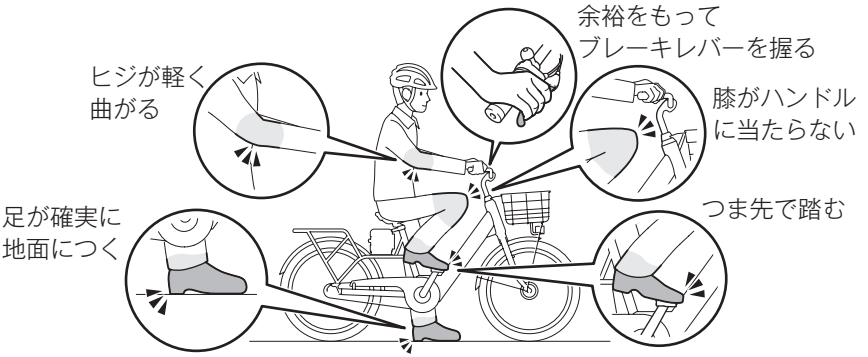
フロントリフレクタ反射面を地面に対して垂直になるように調整をすると、ライト照射角度も適正になります。ライトの角度は、下図に従って調整いただくか、お買い上げの販売店、または当社の営業所に調整をお申し付けください。ライト取り付け後およびライト調整後は、ライトが動かないことを確認してください。



注

・ 対向者（車）に対して、まぶしくならない角度に調整してください。

正しい乗車姿勢



サドルに腰をおろし両手でグリップを持ちます。

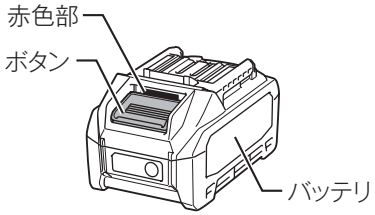
・ 両足先が確実に地面につくこと。
・ 上半身が少し前に傾き、ヒジが軽く曲がること。
・ ペダルを踏み込んだときに膝がハンドルに当たらず、安全にハンドルの操作ができること。
・ 円滑にペダルを踏み込むことができること。
・ ブレーキ、変速機、ベルなどを安全に操作できること。

バッテリ（別販売品）の取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

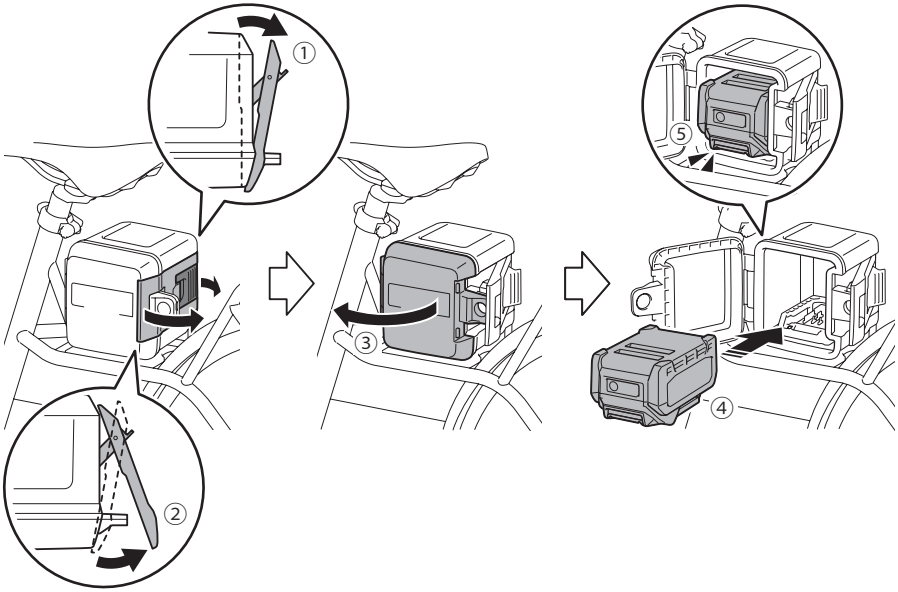
・ 差し込みが不十分かつバッテリボックスのフタを閉めないと、はずれて事故の原因になります。



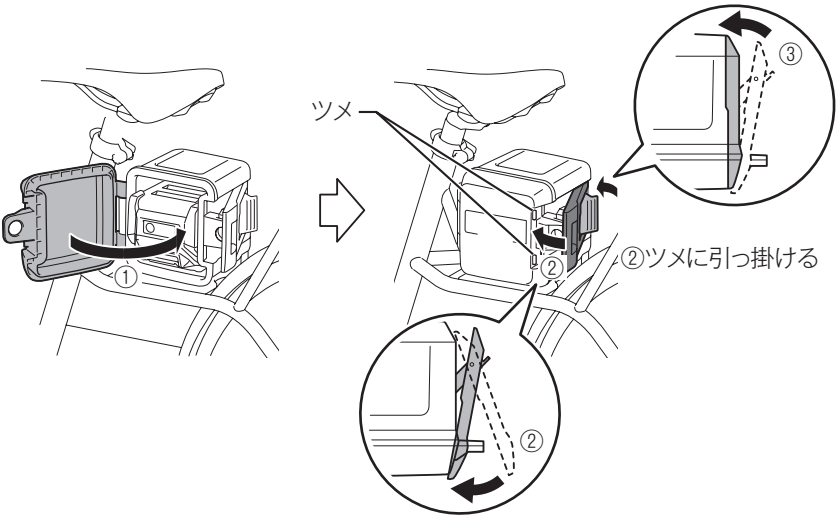
イラストは BL4040 です。

●取り付け方

1. 下図の順番でフタを開き、バッテリを挿入します。
   バッテリを本製品の溝に合わせ、カチっと音が鳴るまで差し込んでください。

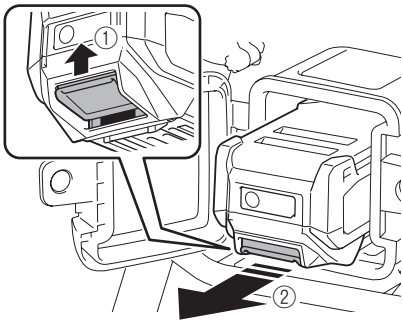


2. 下図の順番でフタを閉めます。
①の操作で閉めたフタのツメに②の操作のフタの先端を引っ掛けてから③の操作をしてください。



●取りはずし方

1. 取り付け方と同様の手順でフタを開きます。
2. バッテリのボタンを矢印の方向に押しながら引き出します。

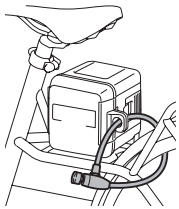
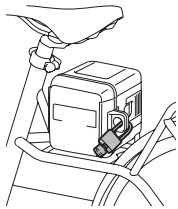


注

・ バッテリを取り付け、取りはずした後、バッテリ収納ボックスは必ず閉じてください。バッテリボックスのフタが足に当たり、けがをする恐れがあります。

●バッテリ収納ボックスの施錠

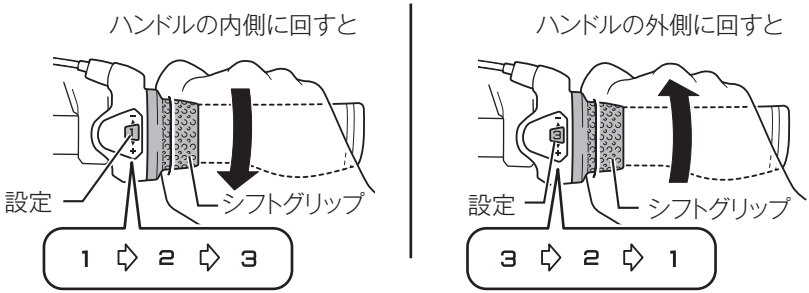
バッテリ収納ボックスにはキーロック取り付け用の穴があります。
キーロックの取り付け方には以下の二通りがあります。
走行中、駐輪中にかかわらず、バッテリ収納ボックスに施錠をしてください。
施錠の例、取り付け可能な南京錠、ワイヤ錠のサイズは以下の通りです。

取り付け方	バッテリ収納ボックスと後輪を一緒に施錠する	バッテリ収納ボックスのみを施錠する
		
使用する錠	ワイヤ錠 （長さ 40 cm ～ 60 cm）	南京錠（ロック部分が 縦 15 mm ×横 15 mm 以上）
キーロック取り付け穴の直径	φ 20 mm	

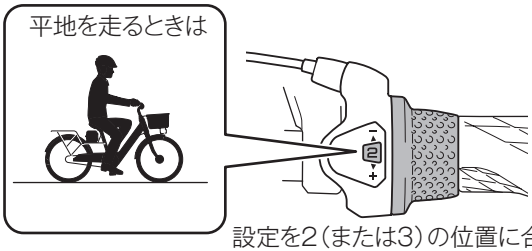
変速機の操作

変速機は「坂道」や「風向き」などの走行条件の変化に応じてギヤ比を変え、ペダリングの速さと重さを一定にして、疲れを少なくすることができます。

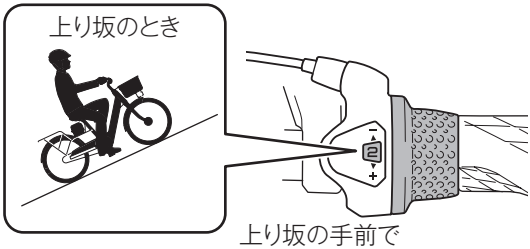
・ シフトグリップの操作方法
　設定を示す数字は大きくなるほどペダルが重くなります。
　シフトグリップを回して操作してください。



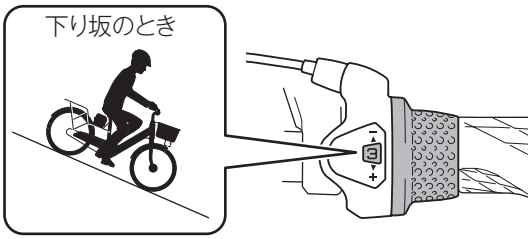
・ 変速機の上手な使い方
標準的な設定を示していますが、自分の体調や体力に合わせ、適切な設定を選んでください。発進や上り坂では、軽めの設定を選んでください。



設定を2（または3）の位置に合わせる。
発進するときは、1に合わせるとペダルを踏む力を軽くできます。



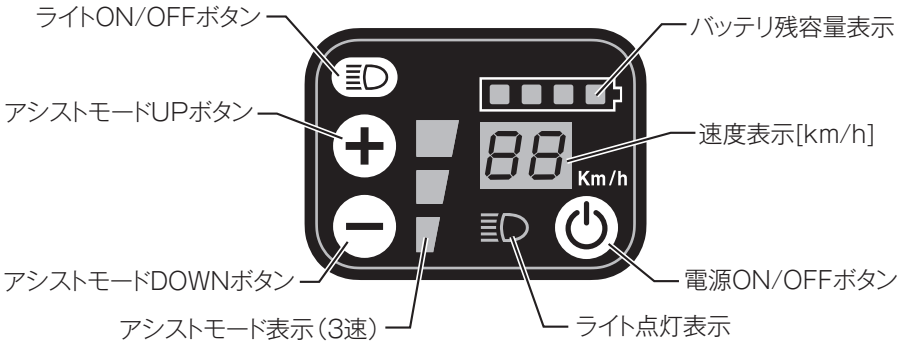
上り坂の手前で
設定を2（または1）の位置に合わせる。
きつい上り坂のときは、1に合わせると
ペダルを踏む力を軽くできます。



注

- タイヤの空気圧が適切でないと、ペダリングが重くなることがあります。
- レバー操作は必ず１段ずつ変速し、ペダルの踏力を弱くして行ってください。強くペダルを踏んでいるときに、無理やり変速レバー操作をすると、足がついていかずペダルから足を踏みはずして、転倒事故につながることがあります。

メインスイッチ



バッテリ残容量表示

バッテリ残容量表示	バッテリ残量の目安	アシスト走行	ライト
	25 % - 100 %	全アシストモードが使用できます。	ライトが使用できます。
	5 % - 25 %	15 % 以下からは弱モードのみ使用できます。	
	0 % - 5 % （1 灯点滅）	アシスト走行はできません。	
	0 % ※ 60 秒後に電源が切れます。	アシスト走行はできません。	ライトが使用できません。

注

- 自転車使用中はメインスイッチのバッテリ残容量表示を参考にしてください。
- バッテリの容量がゼロになってもアシスト無しの自転車としてご使用いただけます。ただし、ライトは点灯しません。
- 自転車が停止した状態で何も操作せず約 3 分経過すると、バッテリ消費を軽減するために自動的に電源が切れる機能を備えています。自動的に電源が切れた後でも⏻を押すと、再び電源が入ります。

●アシストモードについて

本製品は、３つのアシストモードを用意しています。

0	OFF モード	アシスト無しの自転車として使用できます。
1	弱モード	バッテリが長持ちします。
2	中モード	本来の乗り味を楽しめます。
3	強モード	アクティブな走行が楽しめます。

・ ⏻を長押しすると、電源のオン/オフができます。

・ ＋を押すごとに、アシスト力が一段階ずつ上がります。
（最大３段階　強モードまで）

・ －を押すごとに、アシスト力が一段階ずつ下がります。
（最大３段階　OFF モードまで）

●ライトのオン / オフ

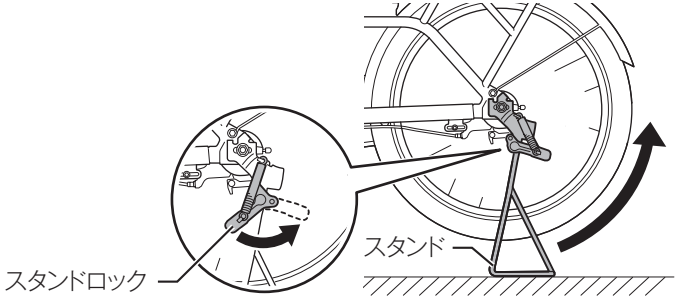
・ LEDを押すと、前照灯（ライト）のオン/オフができます。
オンの場合、ライト点灯表示が点灯します。

注

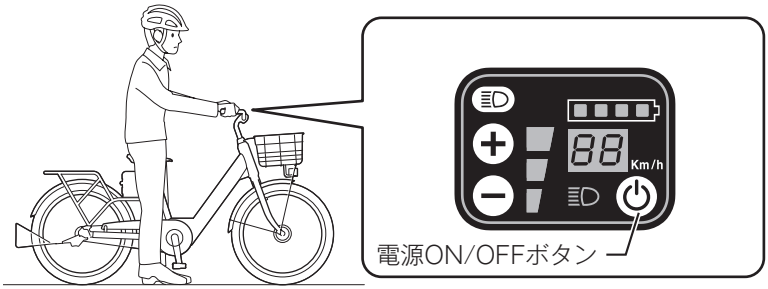
バッテリ残容量が減り、アシスト機能がオフになった後でも前照灯（ライト）は約 1 時間点灯します。

自転車に乗るときは

1. スタンドを上げ、乗車します。
   スタンドロックを足で押して解除し、スタンドを後方へ完全に上げてください。



2. ペダルを踏まずに電源を入れます。
   メインスイッチの電源 ON/OFF ボタンを長押ししてください。
   電源が入ると速度表示 [km/h] および残容量表示が点灯します。



注

- 電源ボタンを押しても、電源が入らないときは、バッテリが充電されているか、または、バッテリが確実に取り付いているかを確認してください。
- ペダルを踏みながらもしくは走行途中に電源を入れないでください。アシスト機能が働かない恐れがあります。
- 電源が入ったまま約 3 分放置すると、自動で電源が切れます。

3. 適切なアシストモードを選択します（詳細は P.52 を参照）。
4. 前後左右の安全を確認し、発進します。
   発進するときは、ハンドルをしっかり握り、見通しのきく道路の左側で、全方位の安全を確かめて発進してください。

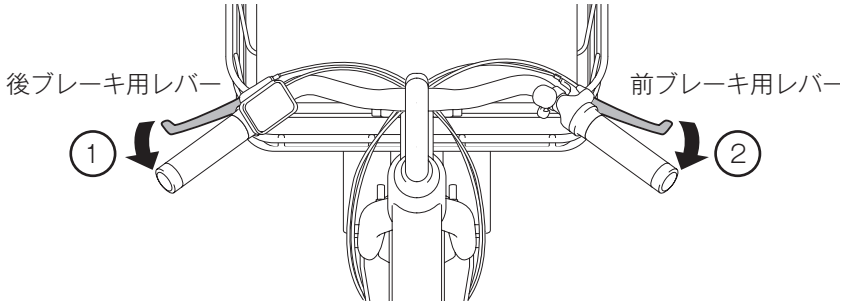
自転車から降りるときは

1. 自転車を停止し、降車します。
   完全に自転車が止まってから、自転車を降りてください。
   停止、減速する際は、先に後輪のブレーキをかけてから、前輪のブレーキもかけ、前後のブレーキがかかるようにしてください。

⚠ 注意

- 前ブレーキまたは後ブレーキだけ強くかけると、前輪または後輪がロックして操縦困難になり、転倒する恐れがあります。
- 手や指をはさまないようにご注意ください。

できるだけ、急ブレーキはかけないように走行し、日頃からブレーキのきき具合を確認してください。



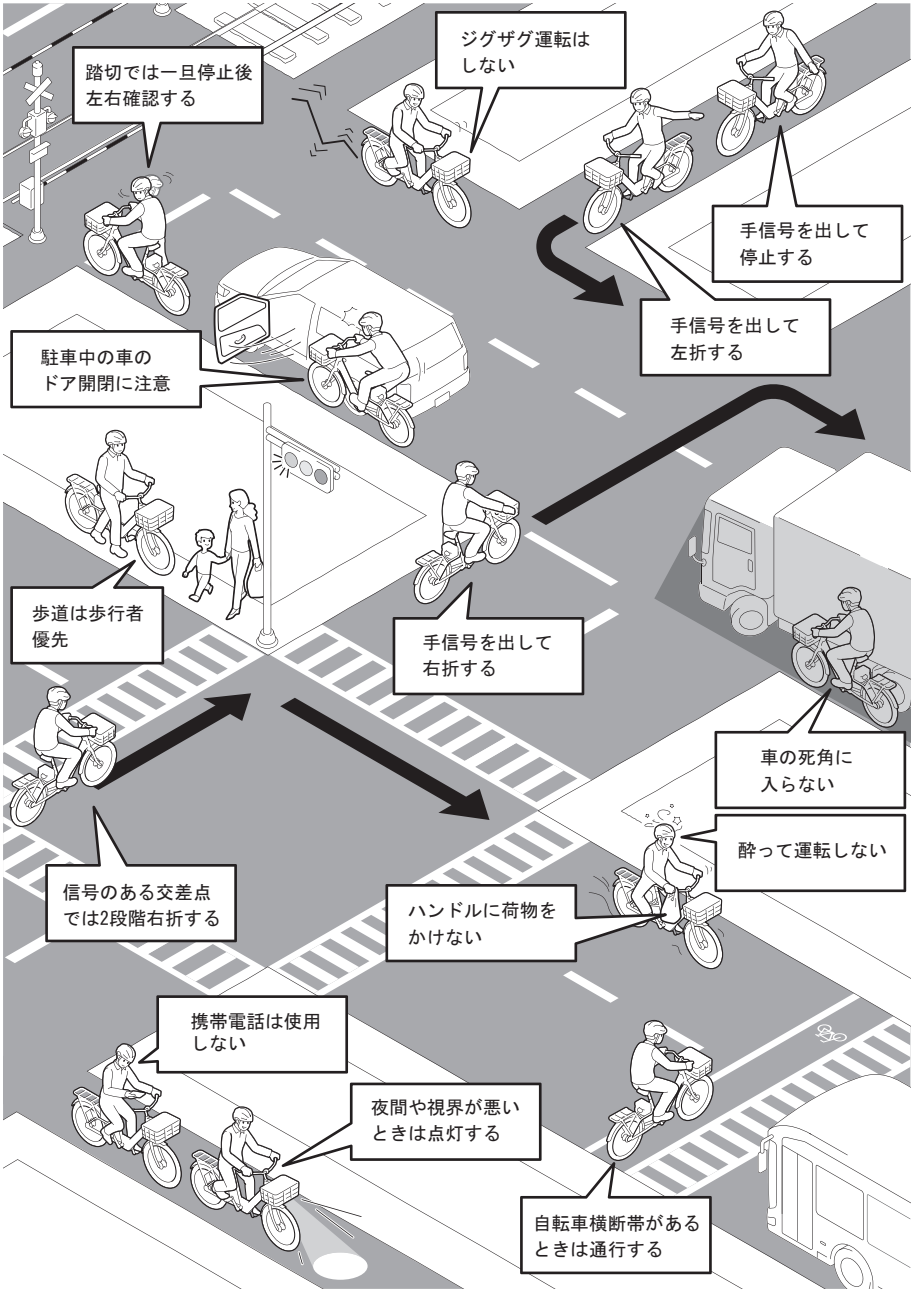
2. スタンドを立てます。
片手でハンドルを支え、スタンドを足で押さえながら、もう片方の手でリヤキャリアを後方に引っ張ってください。
スタンドが立ち、自動的にロックがかかります。スタンドロックがかかっていることを確認してください。

注

- スタンドを立てたら、スタンドロックで固定されていることを確認してください。固定されない場合、お買い上げの販売店、または当社の営業所に調整をお申し付けください。

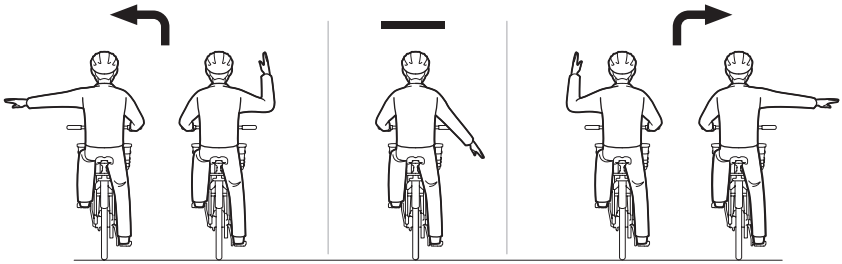
3. メインスイッチの電源 ON/OFF ボタンを長押しします。
電源が OFF になると、メインスイッチが消灯します。

自転車のご使用にあたっては、交通ルールを遵守してください。
自転車も車と同様にそれぞれの標識・標示に従ってください。



自転車の乗り方

●自転車走行中の合図（手信号）

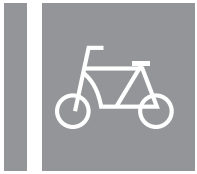


左折・左への進路変更　　徐行・停止　　右折・右への進路変更

- 発進するときは、見通しのきく道路の左側で、後方と前方の安全を確かめてから発進します。
- 右折、左折するときは、右折、左折する場所の30 m手前ぐらいから手信号で合図を出します。
- 進路変更をするときは、進路変更をする3秒前に手信号の合図を出します。
- 停止するときは、安全を確かめて停止の合図を行い、道路の左側に沿って停止し、左側に降ります。

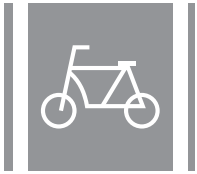
自転車が通行できるところ

自転車および歩行者専用



普通自転車の歩道通行部分

自転車専用



自転車横断帯

道路を通行する際のご注意

・ 自転車は道路の左側に寄って通行しなければならない。
（車両通行帯が設けられた道路を除く。）
・ 車両通行帯（例：左折専用レーンなど）が設けられた道路においては、道路の最も左側の車両通行帯を通行しなければならない。
・ 路側帯や歩道などと車道の区別がある道路においては、車道を通行しなければならない。
ただし、歩行者の通行を妨げることとなる場合を除き、道路の左側部分に設けられた路側帯（軽車両の通行が禁止されている路側帯を除く。）を通行することができます。

歩道・路側帯が設置してある区間の通行について

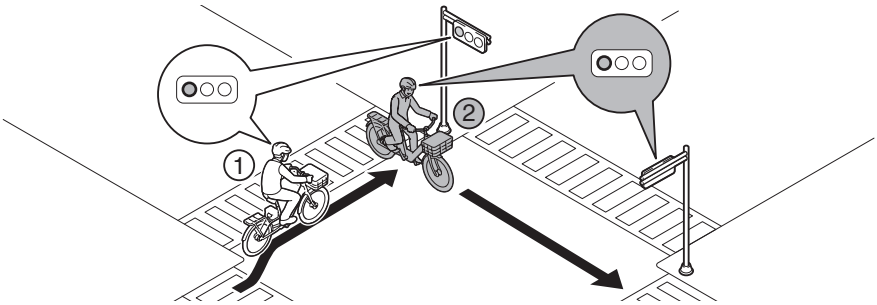
・ 道路標識などで通行することができるとされている場合、歩道を通行できます。
・ 自転車の運転者が高齢者や児童、幼児などの場合、歩道を通行できます。
・ 車道または交通の状況からみてやむを得ないと認められる場合、歩道を通行できます。

歩道・路側帯通行時の注意

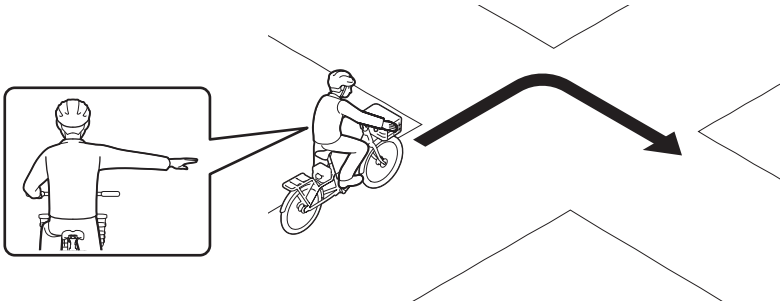
・ 自転車は歩道の中央から、車道寄りの部分を徐行しなければならない。
・ 普通自転車の歩道通行部分や自転車道が設置されている場合は、やむを得ない場合を除き、そこを通行しなければならない。
・ 歩行者の通行を妨げる恐れがある場合は一時停止しなければならない。

交差点の通り方

・ 右折の方法
信号などや交通整理が行われているところ



信号がなく交通整理が行われていないところ



・ 自転車横断帯があるときは、自転車横断帯を通行します。
・ 自転車進入禁止標示のある交差点では、歩道に乗り入れて自転車横断帯を通行します。

駐輪するときの注意

・ 自転車は必ず駐輪場などの決められた場所に置いてください。
・ 傾斜地など不安定な場所に駐輪すると、自転車が倒れる恐れがあります。
・ 自転車を駐輪するときは、歩行者や車両の通行の妨げにならないように注意し、必ず鍵をかけてください。
・ 風の強い日は自転車が倒れる場合があるのでご注意ください。

危険な運転に対する罰則（一部のみ紹介）

以下の罰則は、法改正などにより変更になる場合があります。
道路交通法により、次の罰則が科せられます。

- 5年以下の懲役または100万円以下の罰金
  飲酒運転（酒酔い運転）
- 3ヶ月以下の懲役または5万円以下の罰金
  信号無視・指定場所一時不停止
- 5万円以下の罰金
  夜間の無灯火運転

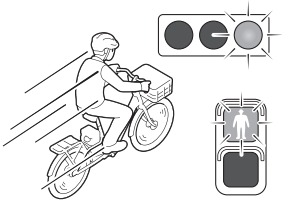
自転車運転者講習制度

改正道路交通法により、自転車の運転に関して、信号無視などの危険なルール違反を繰り返すと、公安委員会から自転車運転者講習の受講を命じられます。
受講条件や罰則は、法改正などにより変更なる場合があります。

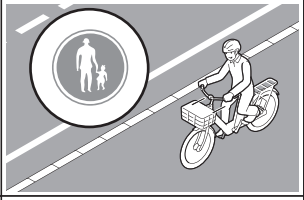
- 対象
  一定の違反行為で３年以内に２回以上検挙された、または事故を起こした自転車運転者
- 自転車運転者講習を拒否した場合は5万円以下の罰金が科されます。

受講対象となる違反行為

❶ 信号無視

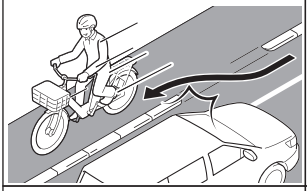


❷ 通行禁止違反

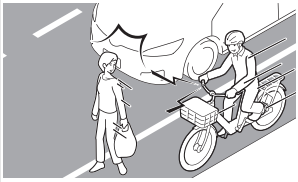


❸ 歩行者用道路での徐行違反

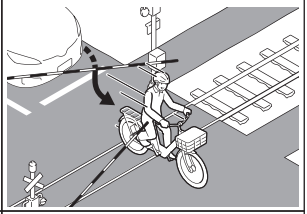
❹ 歩道通行や車道の右側通行



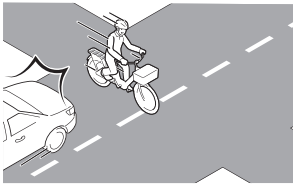
❺ 路側帯での歩行者の通行妨害



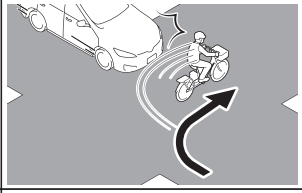
❻ 遮断踏切への立ち入り



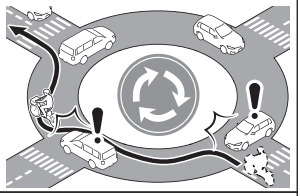
❼ 交差点優先車妨害（左方優先など）



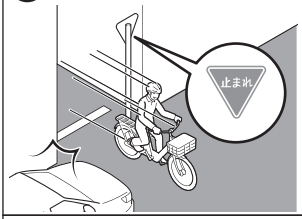
❽ 交差点優先車妨害（直進・左折車妨害）



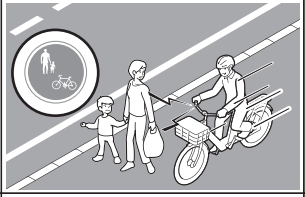
❾ 環状交差点安全進行義務違反



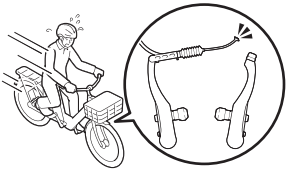
❿ 一時不停止



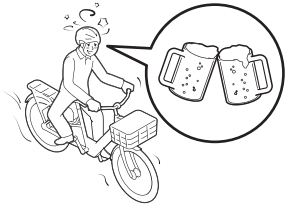
⓫ 歩道での歩行者妨害など



⓬ ブレーキ不良の自転車の運転

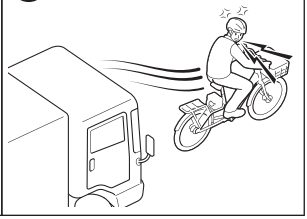


⓭ 酒酔い運転



⓮ 安全運転義務違反

⓯ 妨害運転



防犯登録

お住まいの地域の防犯登録取り扱い販売店で防犯登録を実施してください。
防犯登録の際は、販売証明書（レシート）および車体番号の控えを取ってお持ちください。

・ 制度の意義
  防犯登録は「自転車の安全利用の促進および自転車などの駐車対策の総合的推進に関する法律第 12 条第 3 項」により義務づけられています。これは多発する自転車の盗難、さらには盗難自転車が駅前などに放置され、市民生活に支障をきたす状況を改善することを目的に制定されました。
・ 登録のしかた
  防犯登録はお住まいの地域の防犯登録取り扱い販売店で行います。防犯登録は有料です。
・ 盗難にあった場合
  地元の警察署に盗難届を出してください。このとき防犯登録ナンバーが不明だと自転車が見つかりにくくなりますので、防犯登録カードは大切に保管してください。

・ 乾いた布やブラシでホコリや汚れをよく落としてください。 汚れがひどいときは水洗いしてよく乾かしてください。
・ 雨天走行後などでアルミリムに泥が付着したときは、汚れのない布でふき取ってください。アルミリムはステンレスリムに比べて傷つきやすく、泥が付着したままの使用は、ブレーキ作動時にリムが削れたり、汚れたりする原因になります。
・ ホースの先端をすぼめて圧力のある水を直接かけたり、高圧洗浄機やスチーム洗浄機を使用したりしないでください。内部に水が入り、故障の原因になることがあります。

注油について

⚠ 警告

・ **注油禁止箇所**

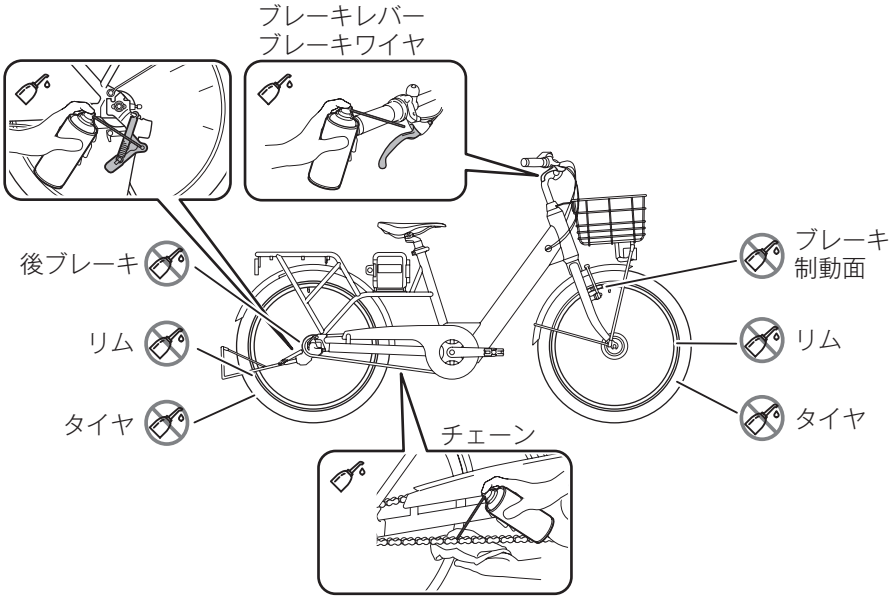
絶対に「油」や「グリス」、「ワックス」をつけないでください。

・ **注油箇所**

注油してください。（1 ～ 2 ヶ月に 1 回程度）

⚠ 注意

・ **絶対にタイヤにワックスをつけないでください。タイヤにひび割れが生じます。**



・ 本製品の後ブレーキはローラーブレーキを採用しています。ローラーブレーキは専用グリスの補給が必要です。
・ 塗装部はワックスでみがいてください。

バッテリ収納ボックスのお手入れ

・ 乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布できれいに拭いてください。

注

・ 高温多湿な環境に長時間放置しないでください。高温多湿な環境では劣化が早まります。
・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

メンテナンスについて

・ お買い上げの販売店、または当社の営業所にて定期的にメンテナンスを行ってください。
・ 自転車部品は、純正部品を使用することで製品の信頼性・安全性・快適性を維持することができます。
・ 非純正部品を本製品に使用した場合、当社の保証対象外となります。
・ 純正部品の交換は、お買い上げの販売店、または当社の営業所で行ってください。
・ 不具合がある場合、直ちにお買い上げの販売店、または当社の営業所に連絡してください。

廃棄について

・ 自転車を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。バッテリはリサイクルのために回収しています（詳細はP.83を参照）。

保管のしかた

・ 寒冷地では水分が凍って部品の作動が悪くなる場合があります。凍結防止のため、暖かい場所で保管してください。
・ 盗難防止のため、必ず鍵をかけてください。
・ 雨の当たらない乾燥した場所に保管してください。屋外に保管する場合にはサイクルカバーやビニルシートを使用してください。風雨にさらされると、サビや劣化・汚れが早くなります。
・ 長期間自転車を放置する場合、タイヤに空気を入れて保管することを推奨します。
・ 使用しないときは本製品からバッテリを抜いて保管してください。

サビを防止し、長持ちさせるために

・ 定期的に手入れをしてください。
・ 焼却炉の煙、潮風、直射日光、雨の当たる場所は避けてください。
・ 除草剤などの薬品や火花が自転車にかからないようにしてください。
・ メッキ・ステンレス部は、「サビ止め油」や「機械油」を少し含ませた布で拭いてください。
・ 海岸、湿気の多い場所、大気汚染発生場所、工場地帯、便所や浄化槽の近くなど、サビやすい場所に置くときは、お手入れの回数を増やしてください。

本製品およびバッテリの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものです。

保護機能
・ 本製品およびバッテリの温度が高温になるとモータが自動停止します。 　・ 使用を中断して本製品よりバッテリを取りはずし、しばらく時間をおいてバッテリを冷ましてから充電してください。 　・ バッテリを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。
・ バッテリの容量が少なくなるとモータが自動停止します。 　・ 本製品よりバッテリを取りはずし、バッテリを充電してください。
・ 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。 　・ 一旦スイッチを切り、本製品よりバッテリを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

・ 上記以外の症状で停止した場合、「故障かな？と思ったら」(P.67参照)に従って点検してください。

こんなときは

●アシストのトラブル

症状	原因・確認内容	対策
電源が入らない。	バッテリが差し込まれていない。	バッテリを差し直し、電源を入れてください。改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
	電源 ON/OFF ボタンを押す時間が短い。	速度表示が切り替わるまで、電源 ON/OFF ボタンを長押ししてください。
	メインスイッチコードが断線している。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
	バッテリが充電されていない。	充電したバッテリを差し直し、電源 ON/OFF ボタンを長押ししてください。
メインスイッチのバッテリ残容量表示ランプがおかしい。	メインスイッチが故障している。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
メインスイッチのバッテリ残容量表示ランプが点灯しない。	メインスイッチコードが断線または破損している。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
速度表示がおかしい。	エラーコードが表示されている。	P.77「エラーコード一覧」を参照して、対応を行ってください。また、電源を入れ直しても改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
速度が表示されない。	メインスイッチコードが断線または破損している。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
ライト点灯表示が点灯しない。	メインスイッチコードが断線または破損している。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

症状	原因・確認内容	対策
ペダルが重い、アシスト機能が働かない。	電源が入っていない。	充電したバッテリを差し直し、電源 ON/OFF ボタンを長押ししてください。
	アシストモードが入っていない。	アシストモード UP ボタンを押してモードを切り替えてください。
	停止して 3 分以上経過している。	電源 ON/OFF ボタンを長押しして、再度電源を入れてください。
	エラーコードが表示されている。	P.77 の「エラーコード一覧」を参照して、対応を行ってください。また、電源を入れ直しても改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
	タイヤの空気圧が適切でない。	P.42「タイヤへの空気の補充」および「タイヤの適切な空気圧」を参照して、適正な空気圧に調整してください。
走行途中で電源が切れる。	メインスイッチコードが断線または破損している。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
アシスト力が弱い。	ペダルを踏みながら電源 ON/OFF ボタンを入れている。	P.53「自転車の乗り方」に従って電源を入れ直してください。
	アシスト力が乱れている（検知と出力のずれ）。	アシストの校正が必要です。お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
走行距離が短い。	アシスト力が強すぎる。	平地と坂道でアシストモードを変更してください。
	自転車の使い方が適切でない。	P.6「走行距離が短くなる環境・使い方」を参照してください。

症状	原因・確認内容	対策
走行距離が短い。	タイヤの空気圧が適切でない。	P.42「タイヤへの空気の補充」および「タイヤの適切な空気圧」を参照して、適正な空気圧に調整してください。
	ライトが点灯したままになっている。	ライト ON/OFF ボタンを押してライトを消してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
	バッテリが劣化している。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
電源が切れない。	電源 ON/OFF ボタンを押す時間が短い。	メインスイッチが消灯するまで電源ボタンを長押ししてください。
異音がする、煙が出る。	モータやバッテリ、コントローラ、メインスイッチ、センサなどの異常です。	使用を中止してください。直ちにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
アシストモード表示は表示されるがアシストしない。	メインスイッチコードが断線または破損している。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
	モータが故障している。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

●バッテリ、充電のトラブル

症状	原因・確認内容	対策
充電できない。	充電器の電源コードがコンセントに差し込まれていない。	電源コードをコンセントに差し込んでください。
	ブレーカーが入っていない。	ブレーカーを確認し、他の家庭用機器などが通電していることを確認してください。
	充電器の LED が表示されるか確認する。	電源コードをコンセントに差し込み直してください。
	バッテリの残容量表示が正常か確認する。	電源コードをコンセントに差し込み直してください。
	気温が低い。	暖かいところで充電してください。
	バッテリ・充電器が故障している。	お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、交換をお申し付けください。
満充電にならない	バッテリが劣化している。	お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、交換をお申し付けください。
バッテリ・充電器が熱い。	火傷に注意して、熱さを確認する。	手でさわれる熱さの場合：60 ℃程度まで熱を持つことがありますが、故障ではありません。
		手でさわれないほど熱い場合：使用を中止してください。直ちにバッテリを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
バッテリの取りはずしができない。	正しい手順で取りはずしをしていない。	P.46「バッテリ（別販売品）の取り付け、取りはずし方」を参照して、取りはずしてください。

●タイヤのトラブル

症状	原因・確認内容	対策
空気が抜ける。	タイヤの空気圧が適切でない。	P.42「タイヤへの空気の補充」および「タイヤの適切な空気圧」を参照して、適正な空気圧に調整してください。
	タイヤが劣化している。	お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、交換をお申し付けください。
	虫ゴムが劣化している。	お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、交換をお申し付けください。

●ブレーキのトラブル

症状	原因・確認内容	対策
前ブレーキがきかない。	ブレーキワイヤがゆるんでいる。	P.34「ブレーキレバーの引きしろ調整」を参照して、調整してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
	ワイヤが絡まっている。	ワイヤが引っかからないように調整してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
	ブレーキシューが摩耗している。	溝が 0.5 mm 以下になったときは、お買い上げの販売店、または当社営業所に交換をお申し付けください。

症状	原因・確認内容	対策
後ブレーキがきかない。	ブレーキワイヤがゆるんでいる。	P.34「ブレーキレバーの引きしろ調整」を参照して、調整してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
	ワイヤが絡まっている。	ワイヤが引っかからないように調整してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
ブレーキ音が鳴る。	リムが汚れている。	リムの汚れを取り除いてください。
	シューが摩耗している。	お買い上げの販売店、または当社営業所に点検、交換をお申し付けください。
	ブレーキの調整が必要です。	前ブレーキ：Vブレーキが片効きになっているため、シューの当たりの調整してください。 後ブレーキ：純正のローラーブレーキ用グリスを補給してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
	ブレーキ用グリスが不足している。	純正のローラーブレーキ用グリスを補給してください。純正のローラーブレーキ用グリスは、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
	ワイヤが絡まっている。	ワイヤが引っかからないように調整してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

●変速機のトラブル

症状	原因・確認内容	対策
変速しない。	シフトグリップを回しすぎている。	変速機は１・２・３の３段階の設定です。設定以上に回しても変速できません。
	ワイヤが絡まっている。	ワイヤが引っかからないように調整してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

●チェーンのトラブル

症状	原因・確認内容	対策
チェーンがはずれやすい。	チェーンが劣化している。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
	チェーンが伸びている。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

●ライトのトラブル

症状	原因・確認内容	対策
ライトが点灯しない。	LED が劣化している。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
	ワイヤが絡まっている。	ワイヤが引っかからないように調整してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
	バッテリの残容量が不足している。	バッテリを充電してください。
	配線が断線または破損している。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

症状	原因・確認内容	対策
ライトが点灯しない。	バッテリが差し込まれていない。	充電したバッテリを差し直し、電源を入れてからライトON/OFF ボタンを押してください。
	ライトが故障している。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

●ハンドルのトラブル

症状	原因・確認内容	対策
運転中ハンドルが安定しない。	ハンドルが正しく固定されていない。	P.38「ハンドルの点検」でハンドルの状態を確認してください。ハンドル調整が必要な場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
グリップが回る。	ネジがゆるんでいる。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
グリップがべたつく。	グリップが劣化している。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

●サドルのトラブル

症状	原因・確認内容	対策
運転中にサドルが動く。	サドルが正しく固定されていない。	P.39「サドルの高さと向きの調整」に従って固定してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

●前カゴのトラブル

症状	原因・確認内容	対策
前カゴがずれている。	強い負荷がかかり位置がずれた。	組み立て直しの必要がありますので、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

●スタンドのトラブル

症状	原因・確認内容	対策
スタンド動作が重い。	潤滑剤が不足している。	可動部に潤滑剤を塗布してください。

●ペダルのトラブル

症状	原因・確認内容	対策
ペダルが安定しない。	ペダルが正しく固定されていない。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

●バッテリ収納ボックスのトラブル

症状	原因・確認内容	対策
ボックスが開かない。	正しい手順で開いていない。	P.47「取りはずし方」を参照して、開いてください。
	ボックスが故障している。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

●自転車全般のトラブル

症状	原因・確認内容	対策
まっすぐ進まない。	前カゴに重い荷物を載せている。	前カゴに6 kgを超える荷物を載せないでください。
	ハンドルが正しく固定されていない。	P.38「ハンドルの点検」でハンドルの状態を確認してください。ハンドル調整が必要な場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
カラカラと音が鳴る。	チェーンケースの調整が必要です。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
	チェーンの調整が必要です。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリを充電するか、充電済みのバッテリと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

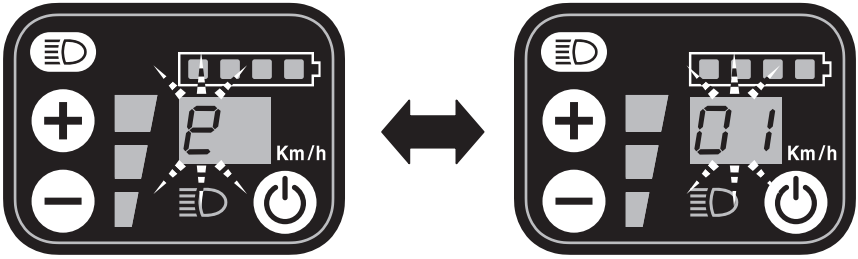
お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については P.66 参照。

・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリ、充電器を一緒にお持ちください。

エラーコードについて

エラーコードはメインスイッチの速度表示に表示されます。
「e」（または「w」）とコード番号が交互に点滅します。



エラーコード一覧

番号	症状	原因	対策
e01	モータの停止	●コントローラ内部の駆動回路が故障している。 ●モータ内部のギヤが破損している。 ●モータケーブルの異常や接続不良が起きている。	電源を入れ直してください。改善しない場合は、モータや配線、コントローラの交換が必要です。お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
e02	スピードセンサ―の異常	●モータとコントローラを繋ぐ端子がしっかり接続されていない。 ●モータ内部のスピードセンサが故障している。 ●コントローラ内部のスピードセンシング回路が故障している。	電源を入れ直してください。改善しない場合は、モータやコントローラの交換が必要です。お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
e03	コントローラCPU エラー	コントローラが故障している場合があります。	電源を入れ直してください。改善しない場合は、コントローラの交換が必要です。お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
e04	バッテリとのTR信号エラー	●走行時の振動などにより、一時的にバッテリがはずれた。 ●バッテリ内部の通信回路が故障している。 ●コントローラ内部の通信回路が故障している。	通常は自動回復します。回復しない場合はバッテリがしっかり取り付けられているか確認してください。バッテリを正しく取り付けた後も改善しない場合は、通信回路の故障が考えられます。お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

番号	症状	原因	対策
e05	モータの過負荷	●急こう配の上り坂を連続登坂した（保護機能によるモータの自動停止）。 ●モータ内部の駆動回路が故障している。	電源を切り、本製品とバッテリを十分に冷ましてから、お使いください。改善しない場合は、コントローラの交換が必要です。お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
e06	バッテリとのDS信号エラー	バッテリ内部に異常がある。	当社のバッテリチェッカー（別販売品）でバッテリの確認をしてください。バッテリに異常がない場合は、バッテリを取り付け電源を入れてください。
e07	トルクセンサの異常	●トルクセンサのトルク値に異常がある。 ●コントローラ内のトルクセンシング回路に異常がある。	電源を入れ直してください。改善しない場合は、トルクの校正、トルクセンサやコントローラの交換が必要です。お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
e08	トルク初期値の異常	●トルクセンサが校正されていない。 ●トルクセンサとコントローラを繋ぐケーブルがしっかり接続されていない。 ●トルクセンサの初期トルク値に異常がある。 ●コントローラ内部のトルクセンシング回路に異常がある。	電源を入れ直してください。改善しない場合は、トルクの校正が必要です。お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
e09	コントローラ温度の異常	●急こう配の上り坂や、過積載など、走行条件が厳しい為、コントローラの温度が高く、モータの保護機能が作動した。 ●コントローラ内部の温度センサが故障している。	電源を切り、本製品とバッテリを十分に冷ましてから、お使いください。改善しない場合は、コントローラの交換が必要です。お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

番号	症状	原因	対策
e10	コントローラの異常高電圧	バッテリの出力電圧が過大になっている。	電源を入れ直してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
e11	コントローラの異常低電圧	バッテリの電力が少ない。	バッテリを充電してください。
e12	コントローラの電流値異常	コントローラの出力電流が過大になっている。	電源を入れ直してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
e14	モータ温度の異常	モータの検知温度が異常になっている。	電源を切り、本製品とバッテリを十分に冷ましてから、お使いください。改善しない場合は、モータまたはコントローラの交換が必要です。お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
e16	ホール配列の異常	●モータとコントローラを繋ぐケーブルが接続されていない。 ●モータ内部のホールセンサが故障している。 ●コントローラ内部のホールセンシング回路が故障している。	電源を入れ直してください。改善しない場合は、モータまたはコントローラの交換が必要です。お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
e17	コントローラとゲートドライバとの接続不良	回路が故障している。	コントローラの交換が必要です。お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
e18	ゲートドライバの異常	回路が故障している。	コントローラの交換が必要です。お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
e56	メインスイッチの初期接続不良	メインスイッチの不良、コントローラの不良	電源を入れ直してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

番号	症状	原因	対策
e57	メインスイッチとコントローラの通信異常	メインスイッチとコントローラを繋ぐケーブルが接続されていない、メインスイッチ内部の通信回路が故障している、コントローラ内部の通信回路が故障している。	電源を入れ直してください。改善しない場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。

警告一覧

番号	症状	原因	対策
w01	コントローラとバッテリとの通信が不安定	走行時の振動などにより、一時的にバッテリがはずれた。	通常は自動回復します。回復しない場合はバッテリがしっかり取り付けられているか確認してください。
w02	コントローラの IMU センサの不良	コントローラ内部のモーションセンサに異常がある。	お買い上げの販売店、または当社の営業所にご相談ください。
w03	コントローラ温度によるアシストの限界	急こう配や過積載など走行条件が厳しい（強制的にアシストモード 1 に切り替わる）。	電源を切り、本製品とバッテリを十分に冷ましてから、お使いください。
w04	モータ温度によるアシストの限界	急こう配や過積載など走行条件が厳しい（強制的にアシストモード 1 に切り替わる）。	電源を切り、本製品とバッテリを十分に冷ましてから、お使いください。

修理について

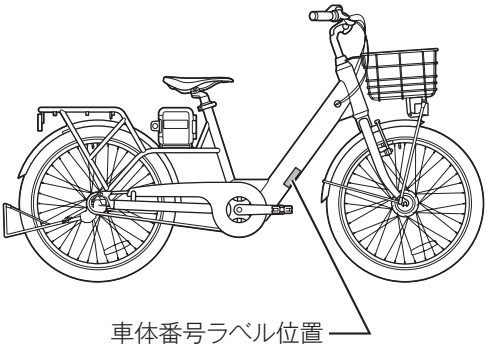
本製品が故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社の営業所に修理をお申し付けください。

・ 修理が保証の対象になるかどうか（無償修理か有償修理か）は品質保証書に基づきます。お買い上げの販売店、または当社の営業所へご確認ください。
・ 通信販売でお買い上げの場合は、それぞれの販売元へお問い合わせください。当社での出張修理やお客様への補修部品の直接販売は行っておりません。

「車体番号」ラベル位置

「車体番号」は販売店で防犯登録をするときに必要です。

・ 「車体番号」位置の例を示します。
　商品によっては図以外の位置に表示している場合があります。



IP 表示は IEC 国際規格により規定される電気機器への粉じんや水の侵入に対する保護等級を表します。
保護等級の分類と内容は次の通りです。

IP X 4

有害な影響を伴う水の侵入に対する保護等級（防水）

保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	あらゆる方向からの水の飛沫に対して保護されている。
5	あらゆる方向からの噴流水（12.5 ℓ /min）に対して保護されている。
6	あらゆる方向からの暴噴水（100 ℓ /min）に対して保護されている。
7	水に浸しても影響がないように保護されている。
8	潜水状態での使用に対して保護されている。

外来固形物の侵入に対する保護等級（防じん）

保護等級	内容
0 ～ 3	省略
4	直径 1 mm 以上の大きさの外来固形物に対して保護されている。 針金での危険箇所への接近に保護されている。
5	防じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しても、動作および安全性を損なわないように保護されている（防じん形）。
6	耐じん試験用粉じん（直径 75 μ m）が侵入しないように保護されている（耐じん形）。
X	規定しない。

注

- IP 表示をしている製品は粉じんや水による影響を受けにくいように設計されていますが、故障しないことを保証するものではありません。
- 本製品（充電器、バッテリは除く）は、雨の中での使用に耐えうる製品仕様となっていますが、故障しないことを保証するものではありません。
- 本製品にバッテリを装着した状態で、IEC 国際規格に規定された保護等級に適合しております。

・ お買い上げ時は、バッテリは十分に充電されていないため、充電器で正しく充電してからご使用ください。
・ 使用しないときはバッテリカバーをかぶせてください。バッテリを水やホコリから保護するのに役立ちます。
・ 使用しないときは本製品または充電器からバッテリを抜いて保管してください。

バッテリを長持ちさせるには

・ 電動アシスト力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
・ 満充電したバッテリを再度充電しないでください。
・ 充電は周囲温度10 ℃～ 40 ℃の範囲で行ってください。
・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリは充電してから保管することをおすすめします。

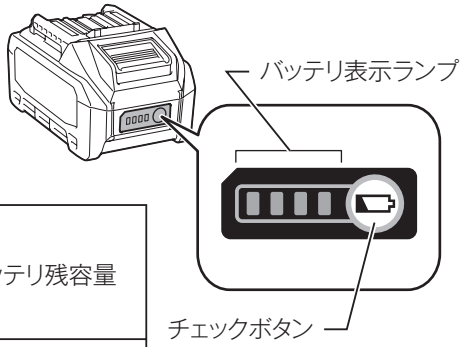
バッテリの回収について

・ 使用済みバッテリはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。

リチウムイオンバッテリは
リサイクルへ

バッテリ残容量表示機能

・ チェックボタンを押すとバッテリ表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリ表示ランプ ■:点灯 ◪:点滅 □:消灯	バッテリ残容量
■ ■ ■ ■	75 % - 100 %
■ ■ ■ □	50 % - 75 %
■ ■ □ □	25 % - 50 %
■ □ □ □	0 % - 25 %
◪ □ □ □	充電してください。
■ ■ □ □ ↓ ↑ □ □ ■ ■	バッテリの異常です。

注

・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。
・ バッテリ保護機能が働いた際は、左端の表示灯が点滅します。

バッテリの充電方法

・ お客様がお持ちの充電器の取扱説明書に従って充電を実施してください。

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

・ バッテリ一覧

バッテリ（容量）	部品番号
◎ BL4025（2.5 Ah）	A-69923
◎ BL4040（4.0 Ah）	A-69939
◎ BL4050F（5.0 Ah）	A-72372
◎ BL4080F（8.0 Ah）	A-73368

◎：使用推奨バッテリ

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

BY001G-JP-2303
CRE